

令和4年度

須賀小学校地域拠点施設
住民意識調査

報告書

令和5年3月

宮代町

目 次

I	調査概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の内容.....	1
3	調査方法と回収状況	1
4	集計分析にあたって	1
II	調査結果.....	2
1	回答者の属性（問1）	2
2	普段の生活や活動などについて	3
	区域の住みやすさ（問2）	3
	区域の住みやすさ、住みにくさの理由（問3）	5
	区域の魅力、自慢できるところ（問4）	7
	活動の場所（問5）	9
	趣味や地域の活動、ボランティア活動（問6）	11
3	須賀小学校にできる「みんなが集まる地域の施設」について.....	13
	「みんなが集まる居場所」とは（問7）	13
	「みんなが集まる居場所」に必要なもの（問8）	15
	地域の拠点で活動したいこと（問9）	17
	地域の拠点と須賀小学校との交流や協力（問10）	19
4	「これぞ」というアイデア	20
	【資料編①】記述式回答（問9、「これぞ」というアイデア）	21
	【資料編②】アンケート調査票	40

I 調査概要

1 調査の目的

本町では、宮代町公共施設マネジメント計画に基づき、平成28年に宮代町立小中学校適正配置計画を策定し、町内小中学校の再編、及び小学校を地域の中心施設として多機能化・複合化する方針を示した。本調査は、須賀小学校の再整備の方向性を定める基本構想や基本計画を検討する際の材料として、地域住民の考え方、アイデアを把握するために実施した。

2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 普段の生活や活動などについて
- (3) 須賀小学校にできる「みんなが集まる地域の施設」について
- (4) 「これぞ」というアイデア

3 調査方法と回収状況

- (1) 調査対象 須賀小学校通学区域内にお住まいの小学校5年生以上の男女個人
- (2) 配布数 1,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
- (3) 調査方式 郵送配布—郵送回収調査方法
- (4) 調査期間 令和4年11月24日（木）～12月12日（月）
- (5) 回収状況 356人（回収率：35.6%）

4 集計分析にあたって

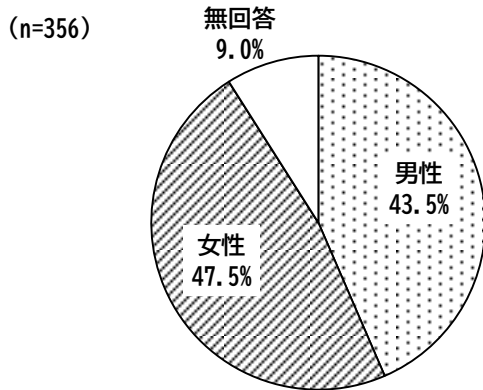
- ・ 図表内の割合を示す数値は、全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出した。そのため、合計値は必ずしも100にならない。
- ・ 複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計数値は100にならない。
- ・ 図表中のnは、母集団（回答者数）を示している。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性（問1）

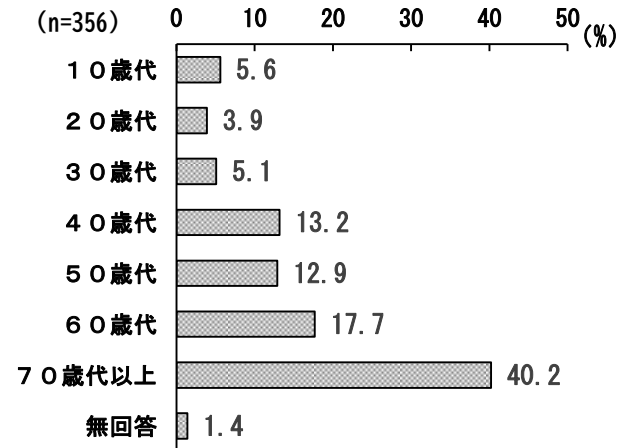
①性別

- ・「男性」が43.5%、「女性」が47.5%となった
- ・「その他」は0件であった。



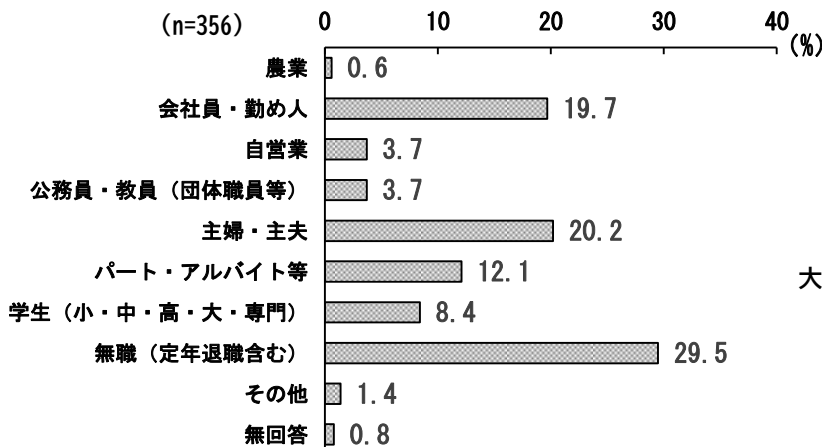
②年齢

- ・「70歳代以上」が40.2%で最も多く、「60歳代」が17.7%、「40歳代」が13.2%と続いた。



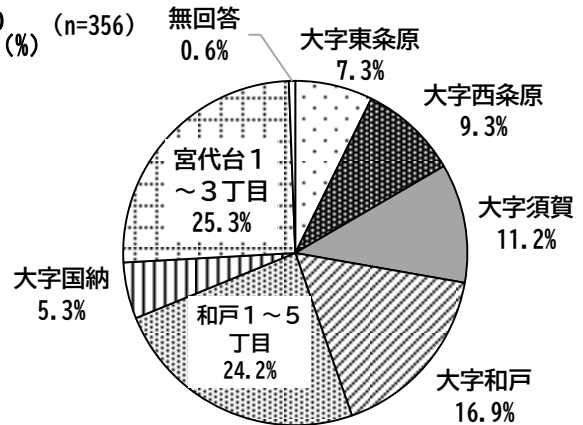
③職業

- ・「無職（定年退職含む）」が29.5%で最も多く、「主婦・主夫」が20.2%、「会社員・勤め人」が19.7%と続いた。



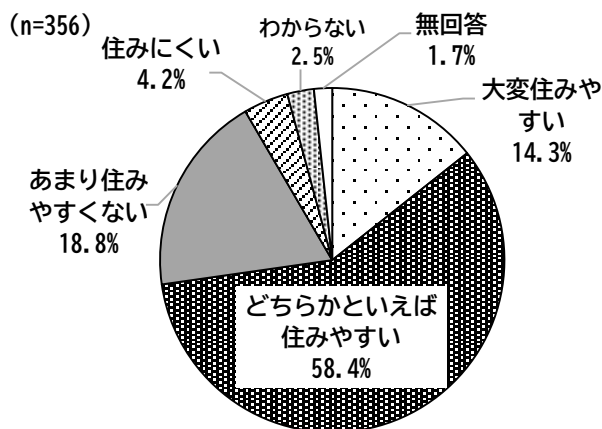
④居住地域

- ・「宮代台1～3丁目」が25.3%と最も多く、「和戸1～5丁目」が24.2%、「大字和戸」が16.9%と続いた。



2 普段の生活や活動などについて

問2 あなたは、須賀小学校区域の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。(1つに○)

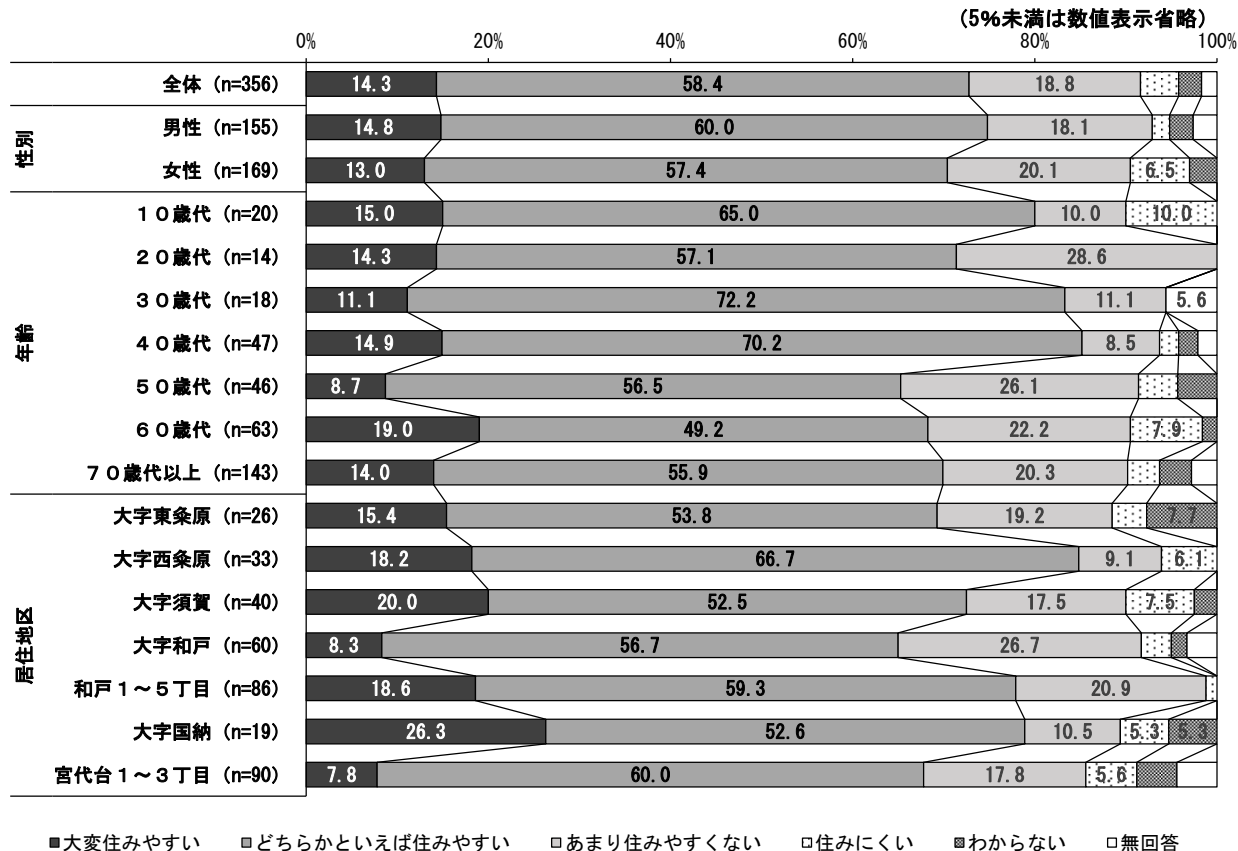


「どちらかといえば住みやすい」が58.4%で最も多く、「あまり住みやすくない」が18.8%、「大変住みやすい」が14.3%と続いた。

「住みやすい^{*1}」と回答した人が72.8%に達し、「住みにくい^{*2}」と回答した人の23.0%を大きく上回った。

※1 「大変住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の計

※2 「あまり住みやすくない」「住みにくい」の計

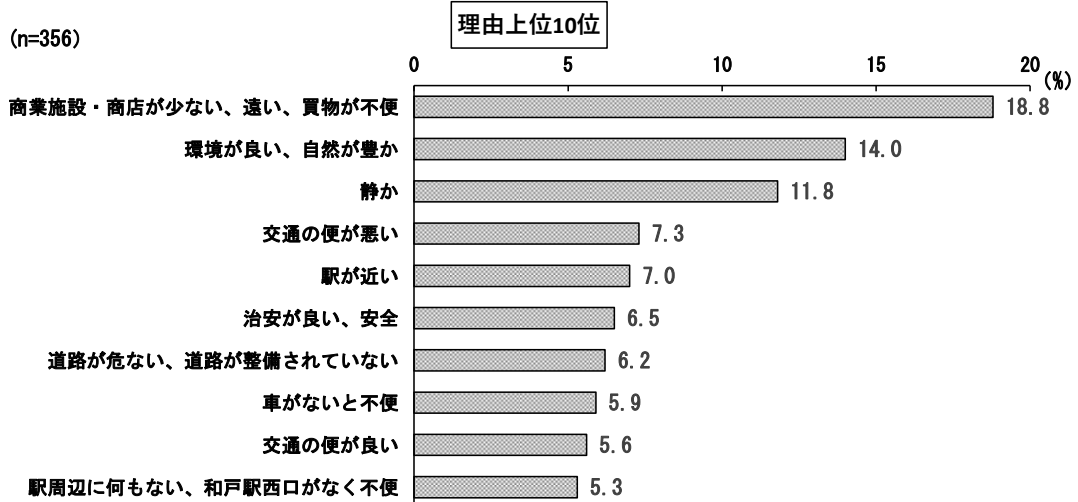


性別では、「住みやすい」と回答した「男性」は74.8%であった一方、「女性」は70.4%となり、「女性」よりも「男性」の方が「住みやすい」と回答した人が多かった。

年齢別では、「住みやすい」と回答した人の中で、「40歳代」の85.1%が最も割合が高く、次に「30歳代」(83.3%)、「10歳代」(80.0%)と続き、「40歳代」以下の年齢の方が、「住みやすい」と答える割合が高かった。一方、「住みにくい」と回答した人の中で、最も割合が高かった年齢は「50歳代」で30.4%となり、次に「60歳代」(30.2%)、「20歳代」(28.6%)と続いた。

地区別では、「住みやすい」と回答した人の中で、「大字西条原」の84.8%が最も割合が高く、次に「大字国納」(78.9%)、「和戸1～5丁目」(77.9%)となった。一方、「住みにくい」と回答した人の中で、最も割合が高かった地区は「大字和戸」で30.0%となり、次に「大字須賀」(25.0%)、「宮代台1～3丁目」(23.3%)と続いた。

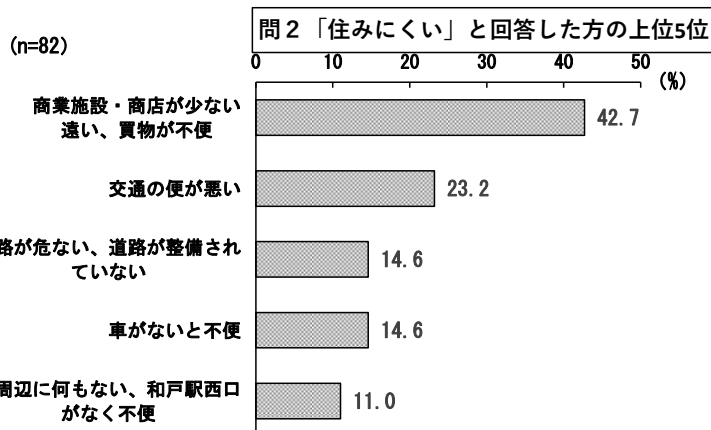
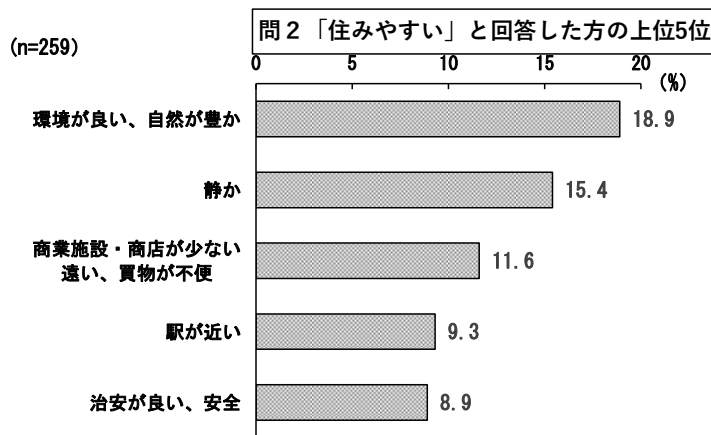
問3 問2の選択肢を選んだ理由を教えてください。



「その他」、「無回答」除き

本問についての回答者は、356人中281人で、回答率は78.9%であった。意見を内容別に分類（複数の内容に関して記入されたものは、それぞれ分類）すると、合計495件の意見となった。

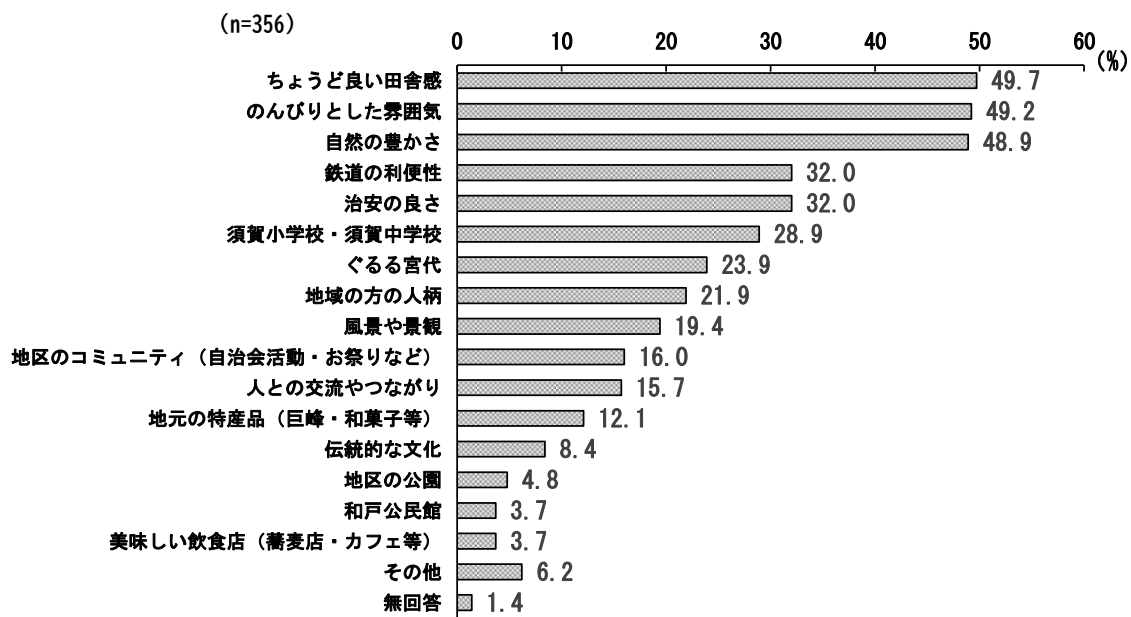
「商業施設・商店が少ない、遠い、買物が不便」と回答したのが18.8%と最も多く、順に、「環境が良い、自然が豊か」（14.0%）、「静か」（11.8%）、「交通の便が悪い」（7.3%）が続いた。



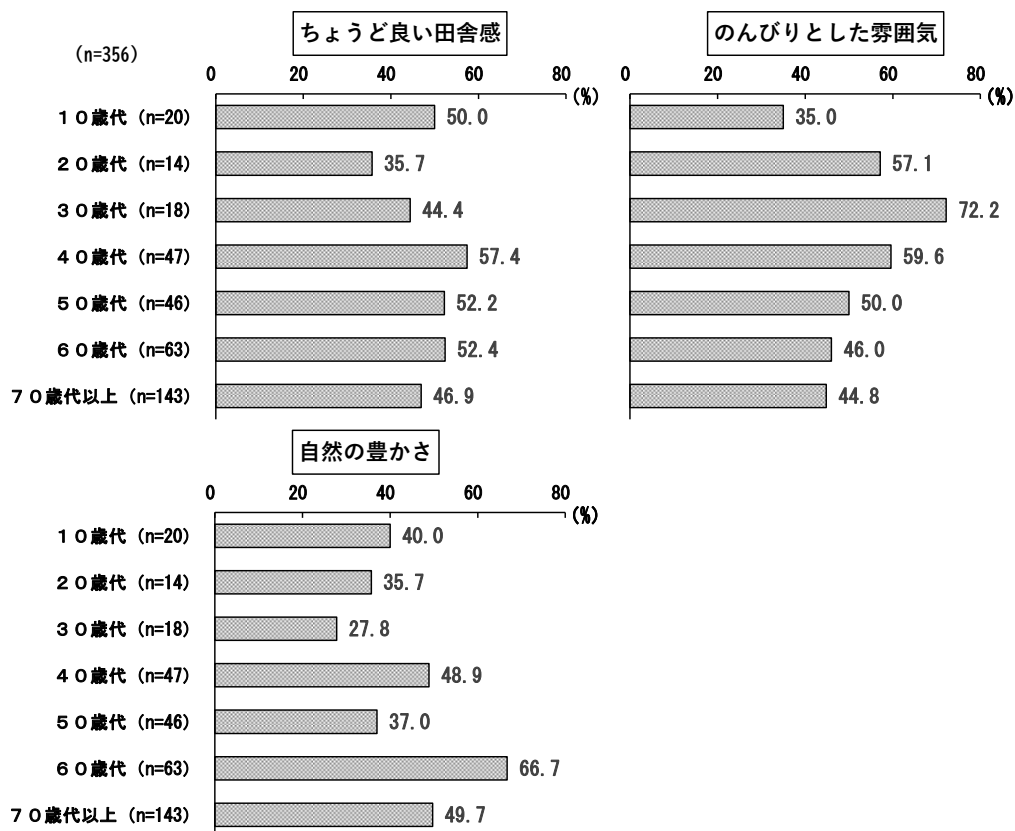
問2で「住みやすい」と回答した方の理由として、「環境が良い、自然が豊か」が18.9%と最も多く、他に、「静か」(15.4%)、「駅が近い」(9.3%)、「治安が良い、安全」(8.9%)が上位となり、自然環境や住環境の良さ、交通利便性の高さが理由として上位となったものの、「商業施設・商店が少ない、遠い、買物が不便」が11.6%で第3位となるなど、「住みやすい」と回答した方の中にも、住みにくい理由を挙げる方がいた。

一方、「住みにくい」と回答した方の理由として、「商業施設・商店が少ない、遠い、買物が不便」が42.7%と最も多く、順に、「交通の便が悪い」(23.2%)、「道路が危ない、道路が整備されていない」(14.6%)、「車がないと不便」(14.6%)が続き、商業施設や道路などのインフラ面についての理由が上位となった。

問4 須賀小学校区域の魅力、自慢できるところを教えてください。
(いくつでも)



「ちょうど良い田舎感」と回答したのが 49.7%と最も多く、過半数近くとなった。順に、「のんびりとした雰囲気」(49.2%)、「自然の豊かさ」(48.9%)となり、同地区の自然に関する魅力が上位となった。

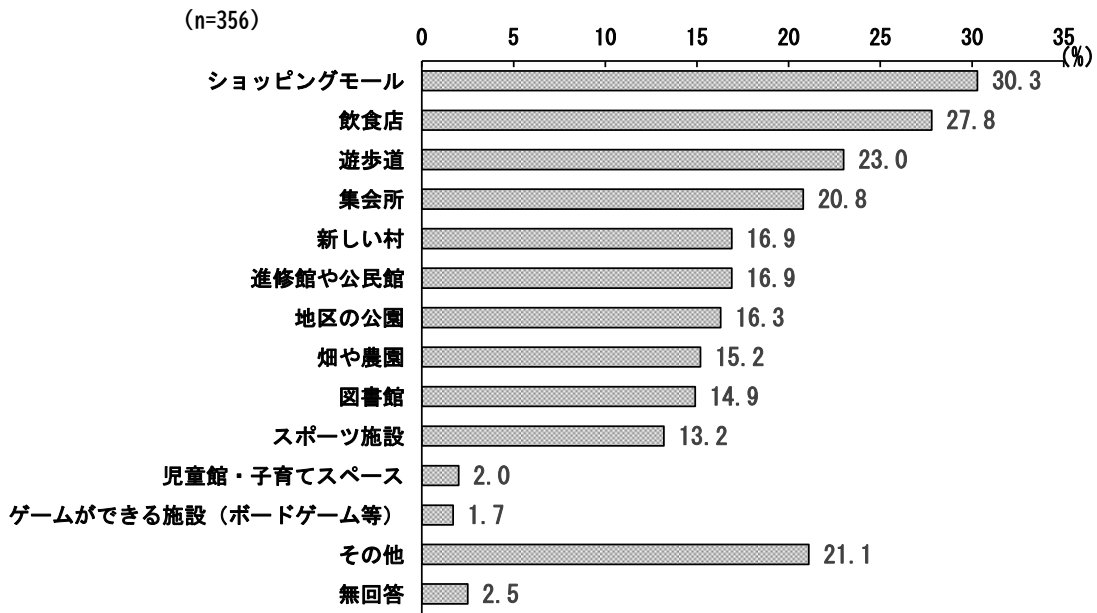


単位：%

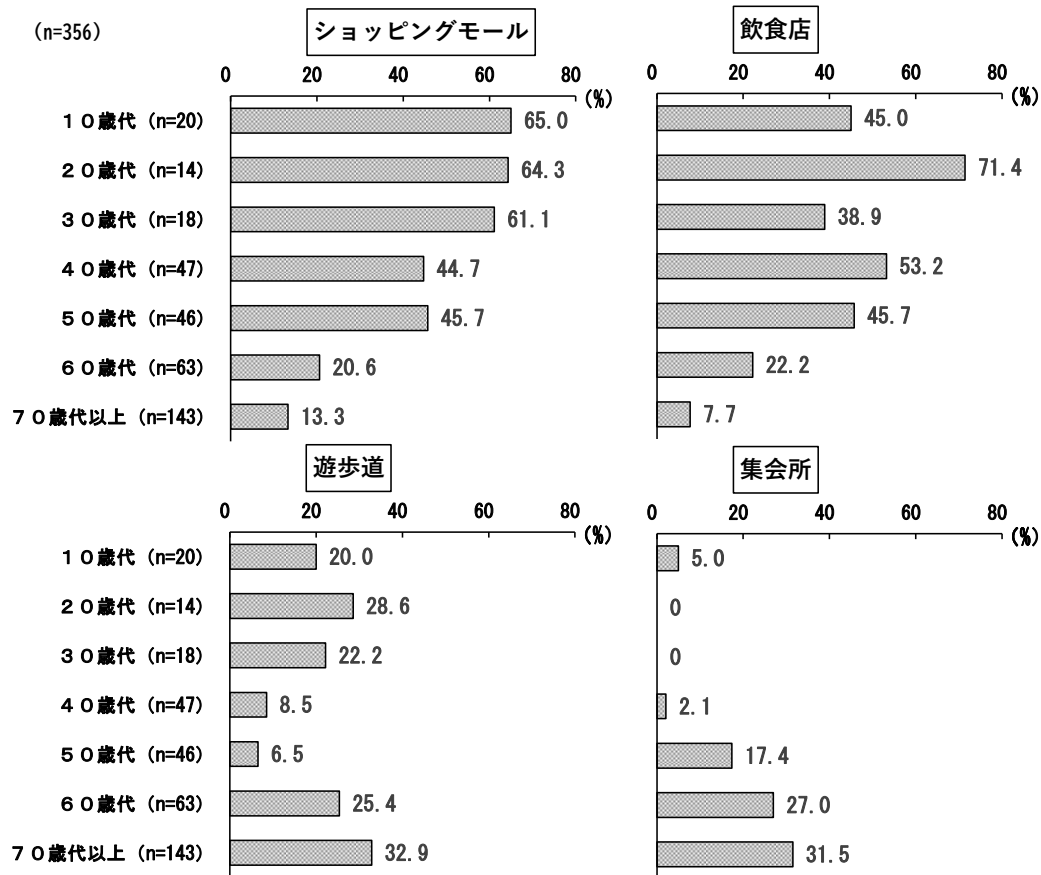
	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=155)	ちょうど良い田舎感 47.7	自然の豊かさ 47.1	のんびりとした雰囲気 44.5	鉄道の利便性 31.0	治安の良さ 29.7
女性 (n=169)	のんびりとした雰囲気 53.8	ちょうど良い田舎感 50.3	自然の豊かさ 47.9	治安の良さ 33.1	須賀小学校・須賀中学校 32.0
10歳代 (n=20)	ちょうど良い田舎感 50.0	自然の豊かさ 40.0	のんびりとした雰囲気 35.0	伝統的な文化 30.0	治安の良さ/須賀小学校・中学校 25.0
20歳代 (n=14)	のんびりとした雰囲気 57.1	治安の良さ 42.9	自然の豊かさ/ちょうど良い田舎感/ぐるる宮代 35.7		
30歳代 (n=18)	のんびりとした雰囲気 72.2	ちょうど良い田舎感/治安の良さ 44.4		自然の豊かさ/須賀小学校・須賀中学校 27.8	
40歳代 (n=47)	のんびりとした雰囲気 59.6	ちょうど良い田舎感 57.4	自然の豊かさ 48.9	治安の良さ 31.9	鉄道の利便性 27.7
50歳代 (n=46)	ちょうど良い田舎感 52.2	のんびりとした雰囲気 50.0	治安の良さ 39.1	自然の豊かさ 37.0	須賀小学校・須賀中学校 32.6
60歳代 (n=63)	自然の豊かさ 66.7	ちょうど良い田舎感 52.4	のんびりとした雰囲気 46.0	鉄道の利便性 39.7	ぐるる宮代/須賀小学校・中学校 28.6
70歳代以上 (n=143)	自然の豊かさ 49.7	ちょうど良い田舎感 46.9	のんびりとした雰囲気 44.8	鉄道の利便性 36.4	治安の良さ 30.8

年齢別では、全年齢とも「自然の豊かさ」、「のんびりとした雰囲気」、「ちょうど良い田舎感」は上位となったが、これら以外では、「20歳代」、「30歳代」、「50歳代」では、「治安の良さ」が上位3位以内に入り、「60歳代」、「70歳代以上」では、「鉄道の利便性」が上位となった。

問5 あなたは、普段、学校や仕事以外で、どんなところで人と会ったり、活動をしたりしていますか。(主なもの3つに○)



「ショッピングモール」と回答したのが 30.3%と最も多く、順に、「飲食店」(27.8%)、「遊歩道」(23.0%)、「集会所」(20.8%)と続いた(「その他」は除く)。

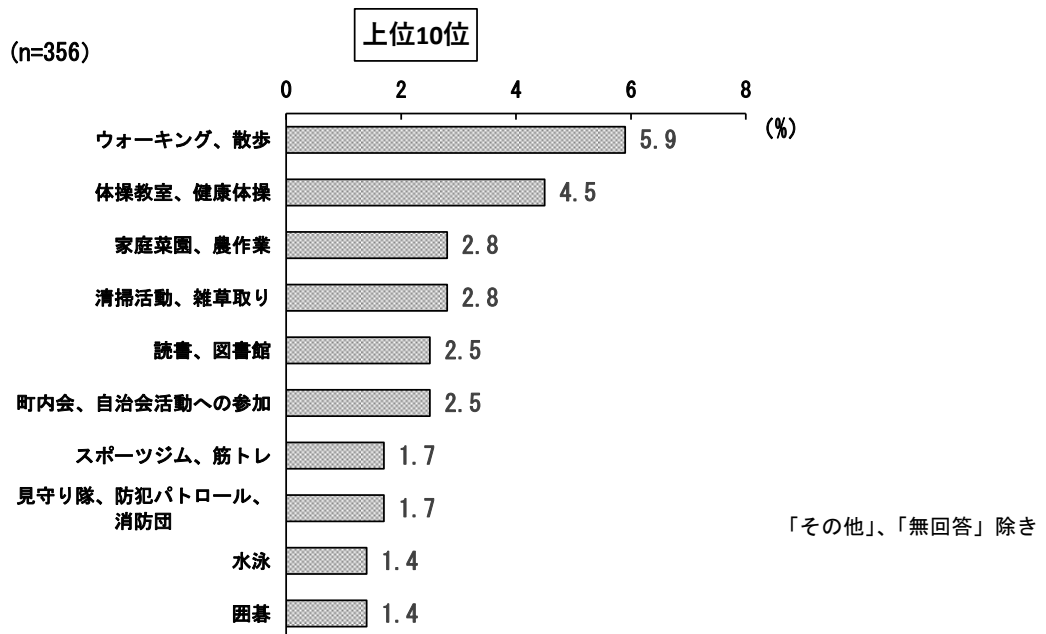


単位：%、「その他」除き

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=155)	ショッピングモール 26.5	飲食店 25.2	集会所/遊歩道 21.3		地区の公園 17.4
女性 (n=169)	ショッピングモール 37.9	飲食店 32.5	新しい村/遊歩道 23.1		集会所 17.8
10歳代 (n=20)	ショッピングモール 65.0	飲食店 45.0	地区の公園/図書館/遊歩道/進修館や公民館 20.0		
20歳代 (n=14)	飲食店 71.4	ショッピングモール 64.3	図書館/遊歩道 28.6		地区の公園 21.4
30歳代 (n=18)	ショッピングモール 61.1	飲食店 38.9	地区の公園/新しい村/遊歩道 22.2		
40歳代 (n=47)	飲食店 53.2	ショッピングモール 44.7	新しい村 21.3	地区の公園/図書館 19.1	
50歳代 (n=46)	飲食店/ショッピングモール 45.7		スポーツ施設 19.6	図書館/集会所 17.4	
60歳代 (n=63)	集会所 27.0	遊歩道 25.4	飲食店 22.2	新しい村/スポーツ施設/ショッピングモール 20.6	
70歳代以上 (n=143)	遊歩道 32.9	集会所 31.5	進修館や公民館 26.6	畑や農園 22.4	地区の公園 17.5

「50歳代」以下の年代は、「ショッピングモール」、「飲食店」が上位2位以内となった一方、「60歳代」以上では、「集会所」や「遊歩道」が上位2位となり、近隣の場所が上位となった。

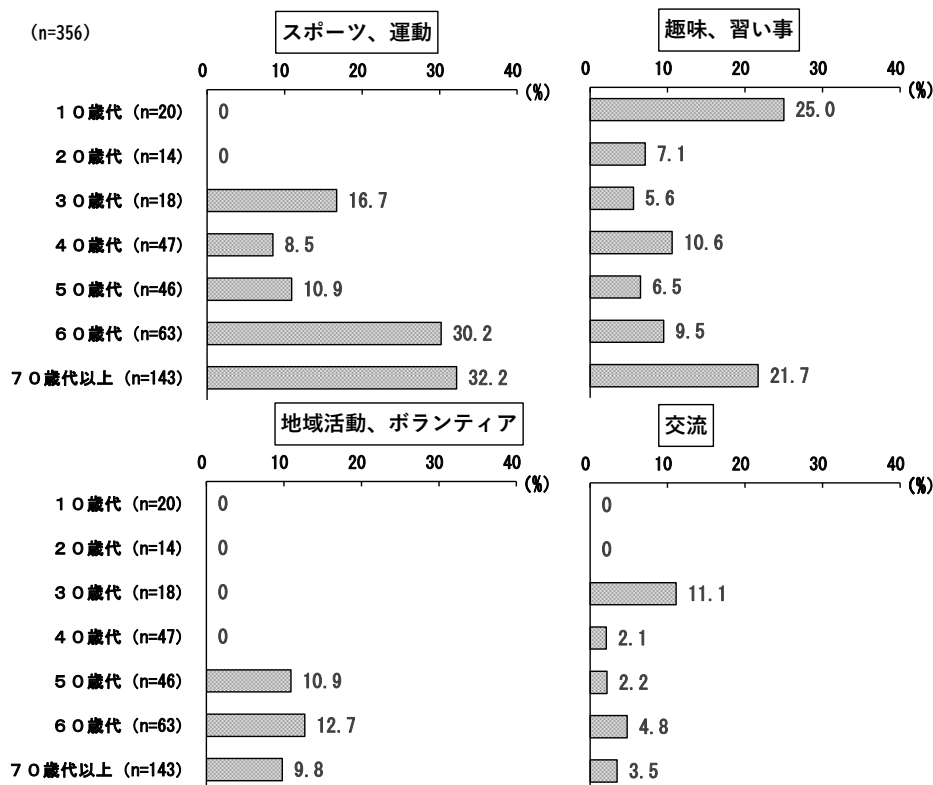
問6 あなたが、問5の場所で行っている趣味や地域の活動、ボランティア活動などがあれば、教えて下さい。



本問についての回答者は、356人中129人で、回答率は36.2%であった。意見を内容別に分類(複数の内容に関して記入されたものは、それぞれ分類)すると、合計191件の意見となった。

「ウォーキング、散歩」と回答したのが5.9%と最も多く、順に、「体操教室、健康体操」(4.5%)、「家庭菜園、農作業」(2.8%)、「清掃活動、雑草取り」(2.8%)が続いた。

各回答を、「スポーツ、運動」、「趣味、習い事」、「地域活動、ボランティア」、「交流」、「その他」に分類し、年代毎の回答者割合をグラフにすると、以下の通りとなった。



全体的には、年代が高いほど回答が多く、低いほど回答が少ない結果となり、年代による回答者割合に差があった。

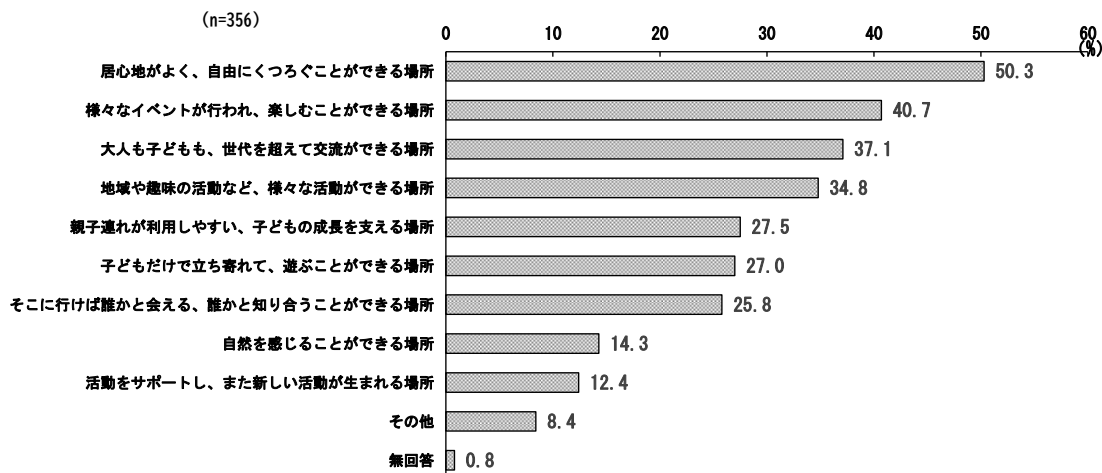
「10歳代」、「20歳代」は、「スポーツ、運動」、「地域活動、ボランティア」、「交流」に関する回答をした方がいなかった。

「60歳代」以上の年代は、「スポーツ、運動」と回答した方が3割を超え、更に「70歳代以上」は、「趣味、習い事」で2割を超えた。

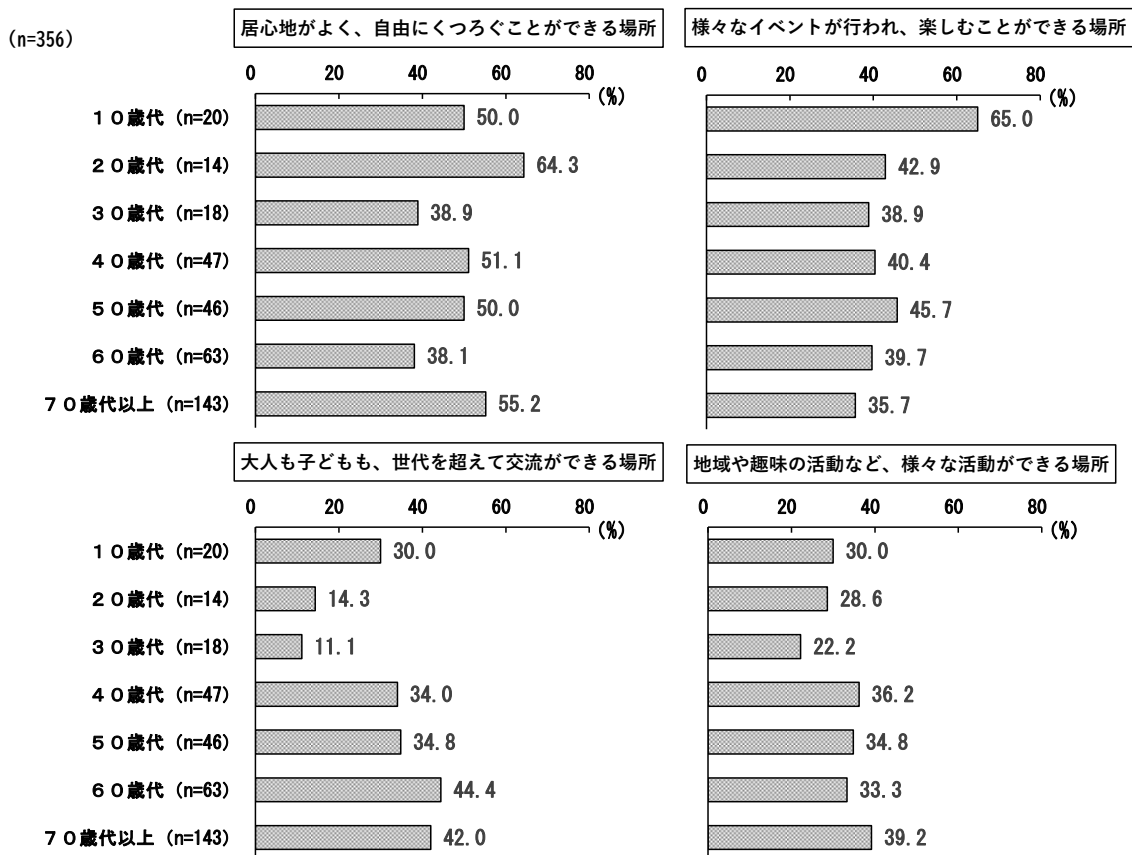
高い年代ほど問5で回答した場所を「スポーツ、運動」や「趣味、習い事」などで利用している結果となった。

3 須賀小学校にできる「みんなが集まる地域の施設」について

問7 須賀小学校にできる地域の施設を「みんなが集まる居場所」とするためには、どのような場所にすればよいと思いますか。(主なもの3つに○)



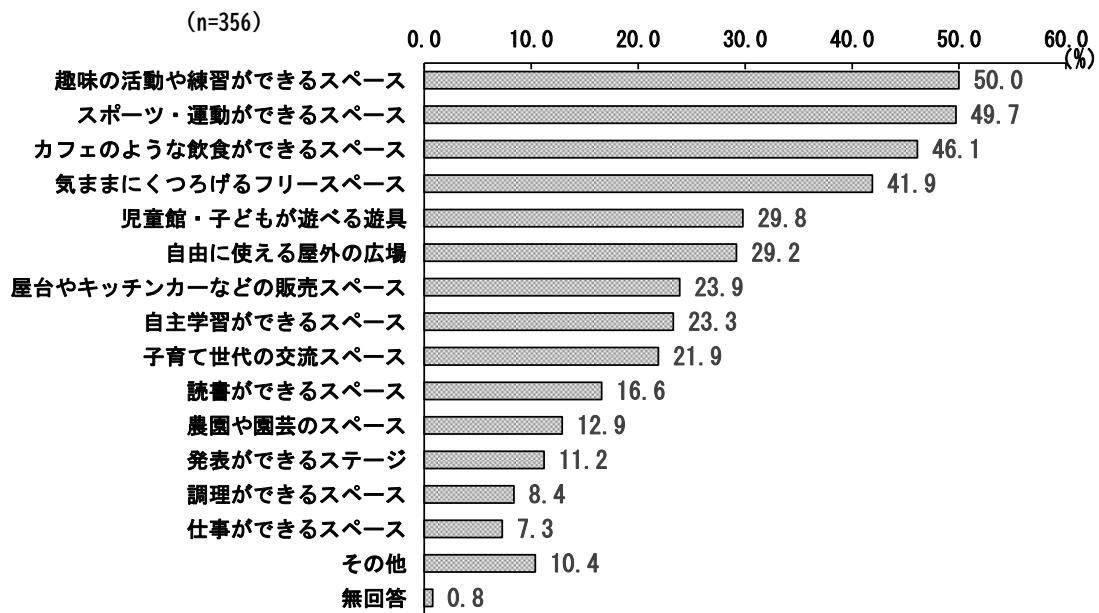
「居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所」と回答したのが 50.3% と過半数を超え、順に、「様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所」(40.7%)、「大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所」(37.1%)、「地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所」(34.8%)と続いた。



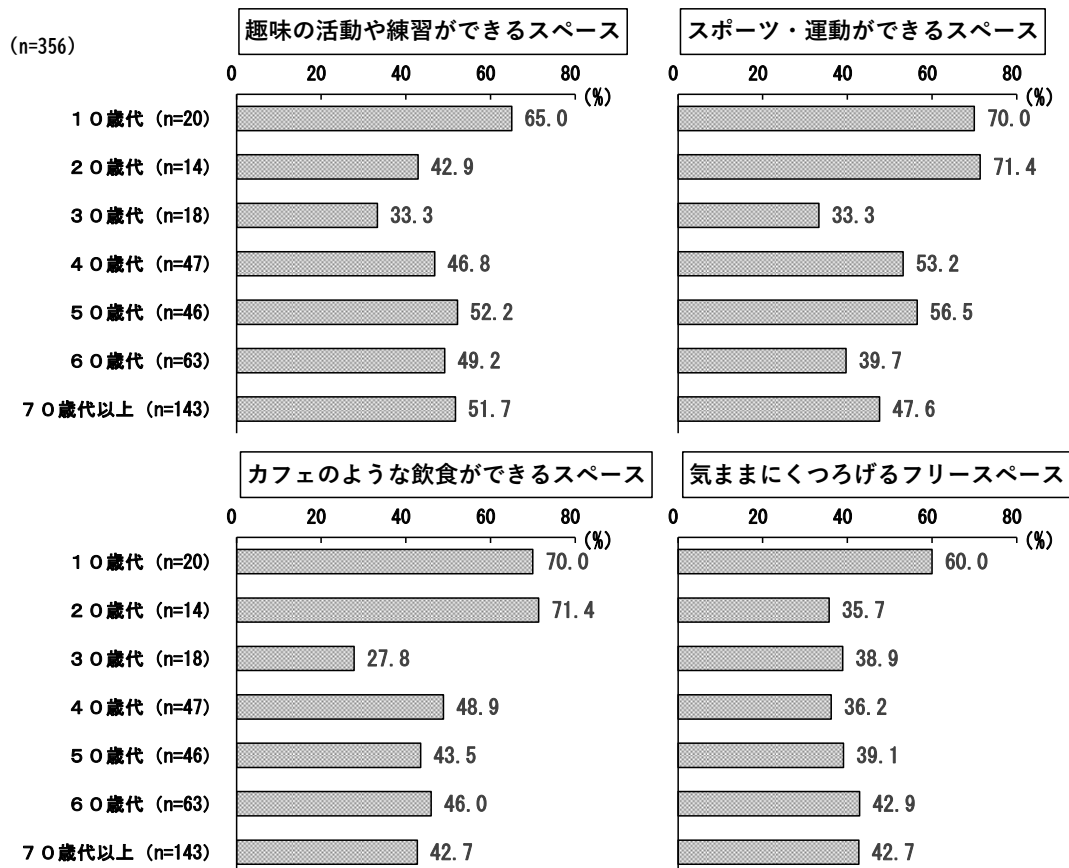
	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=155)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 49.0	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 39.4	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所 37.4	地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 33.5	親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所/子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所 28.4
女性 (n=169)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 51.5	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 39.6	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所 37.3	地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 36.1	親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所 29.6
10歳代 (n=20)	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 65.0	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所/子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所 50.0	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所/地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 30.0		
20歳代 (n=14)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 64.3	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 42.9	親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所 35.7	自然を感じることができる場所/地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所/子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所 28.6	
30歳代 (n=18)	親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所 44.4	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所/子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所/様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 38.9			そこに行けば誰かと会える、誰かと知り合うことができる場所 33.3
40歳代 (n=47)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 51.1	親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所 44.7	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 40.4	地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 36.2	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所 34.0
50歳代 (n=46)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 50.0	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 45.7	子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所 37.0	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所/地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 34.8	
60歳代 (n=63)	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所 44.4	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 39.7	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 38.1	地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 33.3	子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所 27.0
70歳代以上 (n=143)	居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所 55.2	大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所 42.0	地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所 39.2	様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所 35.7	そこに行けば誰かと会える、誰かと知り合うことができる場所 30.1

「居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所」と「様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所」は性別、年齢問わず上位であった。「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」は「親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所」が上位となり、子育て世代は「子育て」を重視している一方、「60歳代」、「70歳代以上」は「大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所」が上位となり、高齢世代は「交流」を重視している結果となった。

問8 須賀小学校にできる地域の施設を「みんなが集まる居場所」とするためには、どのような施設や設備があれば良いと思いますか。(いくつでも)



「趣味の活動や練習ができるスペース」と回答したのが 50.0%と最も多く、順に、「スポーツ・運動ができるスペース」(49.7%)、「カフェのような飲食ができるスペース」(46.1%)、「気ままにくつろげるフリースペース」(41.9%)と続いた。

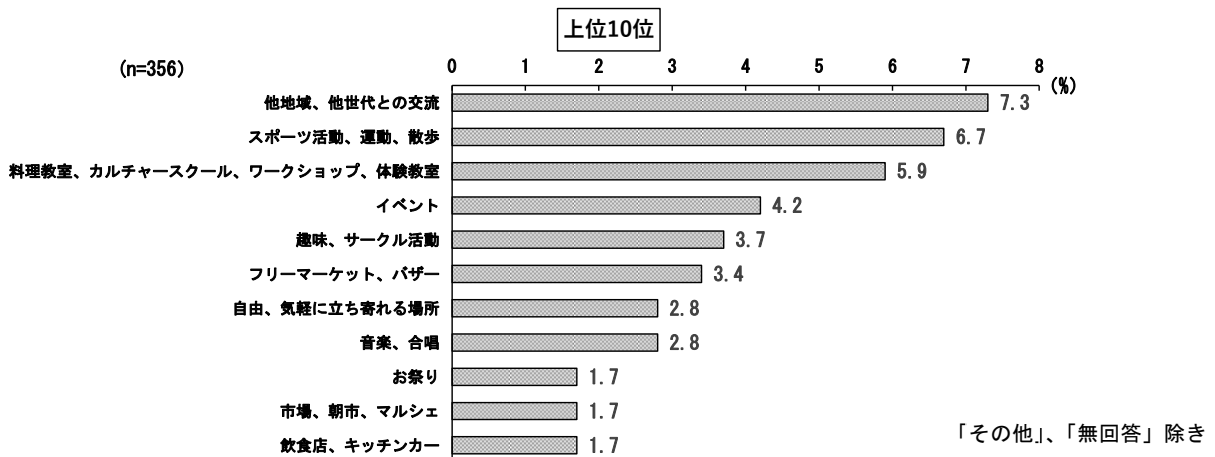


単位：％

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=155)	スポーツ・運動ができるスペース 52.3	趣味の活動や練習ができるスペース 51.6	カフェのような飲食ができるスペース 45.8	気ままにくつろげるフリースペース 38.1	自由に使える屋外の広場 30.3
女性 (n=169)	スポーツ・運動ができるスペース 49.7	カフェのような飲食ができるスペース 48.5	趣味の活動や練習ができるスペース 47.3	気ままにくつろげるフリースペース 44.4	児童館・子どもが遊べる遊具 30.2
10歳代 (n=20)	スポーツ・運動ができるスペース/カフェのような飲食ができるスペース 70.0		趣味の活動や練習ができるスペース/自由に使える屋外の広場 65.0	気ままにくつろげるフリースペース 60.0	
20歳代 (n=14)	スポーツ・運動ができるスペース/カフェのような飲食ができるスペース 71.4		趣味の活動や練習ができるスペース/自由に使える屋外の広場 42.9	児童館・子どもが遊べる遊具/気ままにくつろげるフリースペース 35.7	
30歳代 (n=18)	児童館・子どもが遊べる遊具 50.0	気ままにくつろげるフリースペース/自由に使える屋外の広場 38.9	スポーツ・運動ができるスペース/趣味の活動や練習ができるスペース/自主学習ができるスペース 33.3		
40歳代 (n=47)	スポーツ・運動ができるスペース 53.2	カフェのような飲食ができるスペース 48.9	趣味の活動や練習ができるスペース 46.8	自主学習ができるスペース 44.7	児童館・子どもが遊べる遊具 42.6
50歳代 (n=46)	スポーツ・運動ができるスペース 56.5	趣味の活動や練習ができるスペース 52.2	カフェのような飲食ができるスペース 43.5	気ままにくつろげるフリースペース 39.1	自由に使える屋外の広場 37.0
60歳代 (n=63)	趣味の活動や練習ができるスペース 49.2	カフェのような飲食ができるスペース 46.0	気ままにくつろげるフリースペース 42.9	スポーツ・運動ができるスペース 39.7	児童館・子どもが遊べる遊具 30.2
70歳代以上 (n=143)	趣味の活動や練習ができるスペース 51.7	スポーツ・運動ができるスペース 47.6	カフェのような飲食ができるスペース/気ままにくつろげるフリースペース 42.7	子育て世帯の交流スペース 24.5	

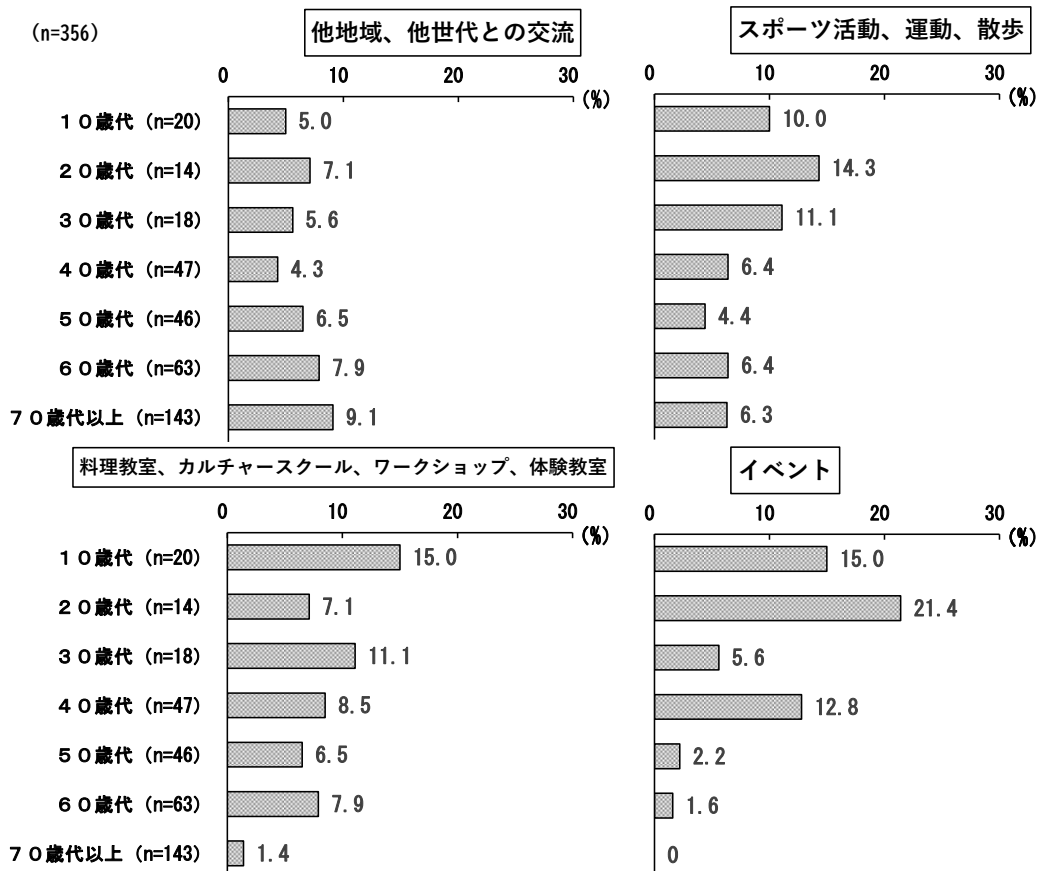
全世代を通して、「スポーツ・運動ができるスペース」、「趣味の活動や練習ができるスペース」、「カフェのような飲食ができるスペース」は上位であった。特に、「10歳代」、「20歳代」では、「スポーツ・運動ができるスペース」、「カフェのような飲食ができるスペース」が7割以上となった。これら以外では、「30歳代」以下で、「自由に使える屋外の広場」が上位となった。

問9 地域の拠点が完成したら、そこでどんな活動があったら面白いと思いますか。また、どんな活動をしたいと思いますか。



本問についての回答者は、356人中193人で、回答率は54.2%であった。意見を内容別に分類（複数の内容に関して記入されたものは、それぞれ分類）すると、合計256件の意見となった。

「他地域、他世代との交流」と回答したのが7.3%と最も多く、順に、「スポーツ活動、運動、散歩」(6.7%)、「料理教室、カルチャースクール、ワークショップ、体験教室」(5.9%)、「イベント」(4.2%)が続いた。



「他地域、他世代との交流」は、全年代でまんべんなく回答があったが、「60歳代」以上の高い年代でやや回答する方の割合が高かった。

「イベント」は「10歳代」、「20歳代」で回答した方の割合が高かった一方、「50歳代」以上では低く、年代の差が大きかった。

意見（一部抜粋）

【飲食やリモートワークができる場所】

- ・子育てをしやすいと、若い人が思ってくれるような場になったらと思いますが、それ以外の人（私とか）も、飲食ができたり、はたまたリモートワークができるような場だと、足を運んでみたいかも。（30歳代）

【宮代産野菜を使った料理教室】

- ・宮代産の野菜を使って子供達とお料理を学び、食育の大切さを小さいころから学んでほしいとの願いから、大人と子供達合同の料理教室などがあったら面白いと思っています。（60歳代）

【誰でもふれあえる場所】

- ・老人でも障がい者でも、未就学の子でも、みんなが寄りそい助け合いながら過ごせる所にし、日々ふれあえる活動が出来たらいいと思います。（40歳代）

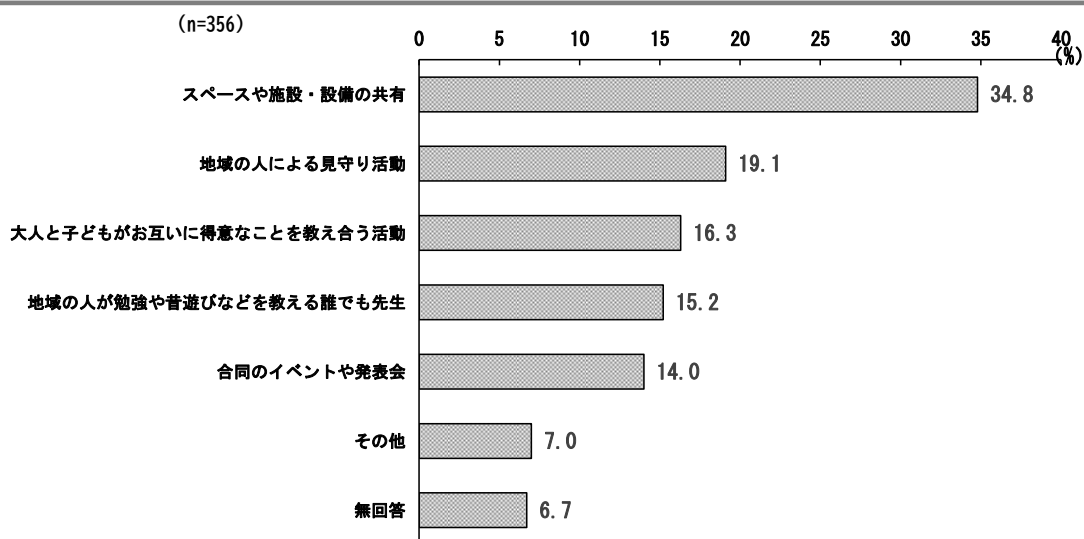
【世代を超えての交流】

- ・趣味、特技を活かして、年代を超えて地域のコミュニティの交流の場。ボランティア活動による子育て、教育の支援活動の場。（60歳代）

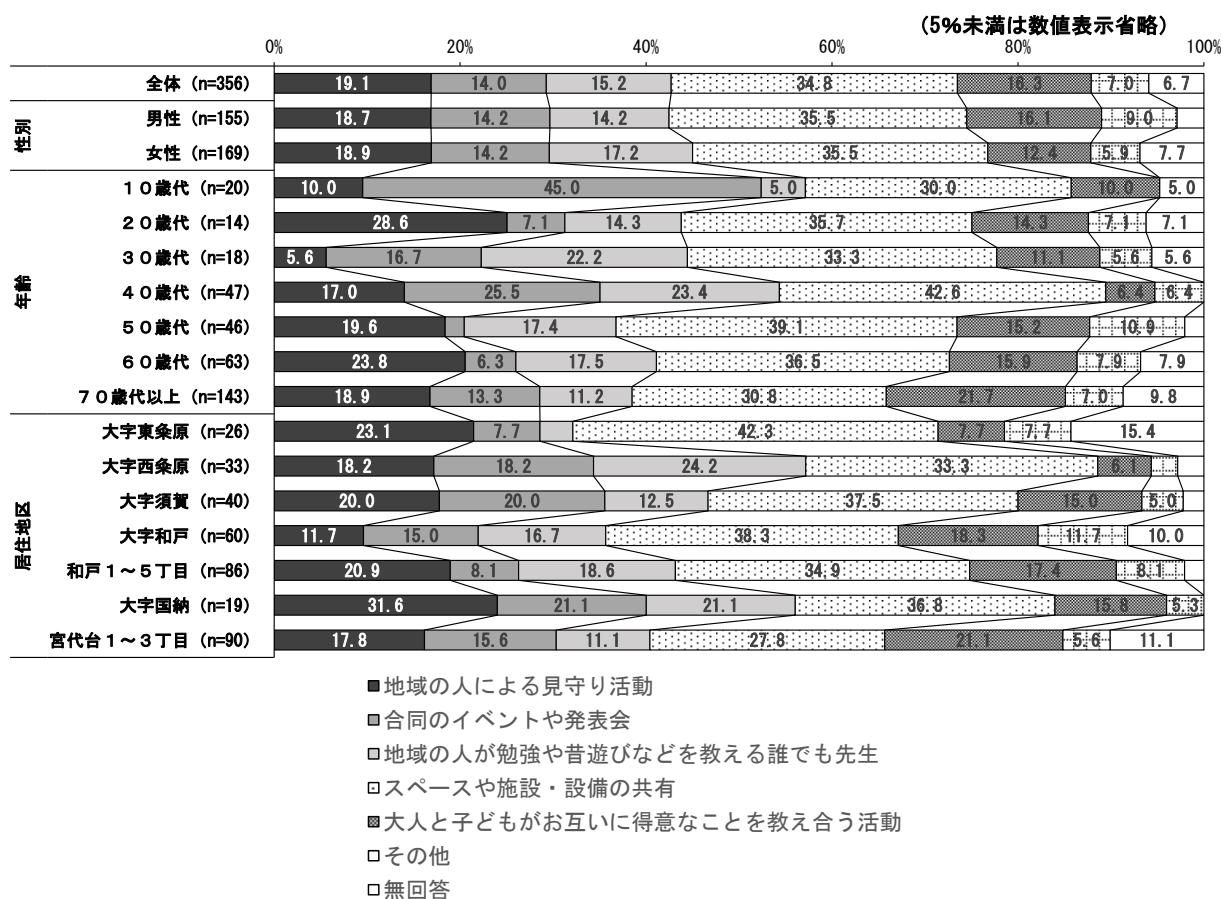
【安心して子供達が遊べる拠点】

- ・進修館までは遠いけど、須賀小学校までだったら行けそうなので、みんなが笑ったり、歌ったり、踊ったり、安心して、子供達が遊べる拠点があったら元気が出ると思う。（60歳代）

問 10 「みんなが集まる地域の拠点」と「須賀小学校」では、お互いにどんな交流や協力をすると良いと思いますか。(1つに○)



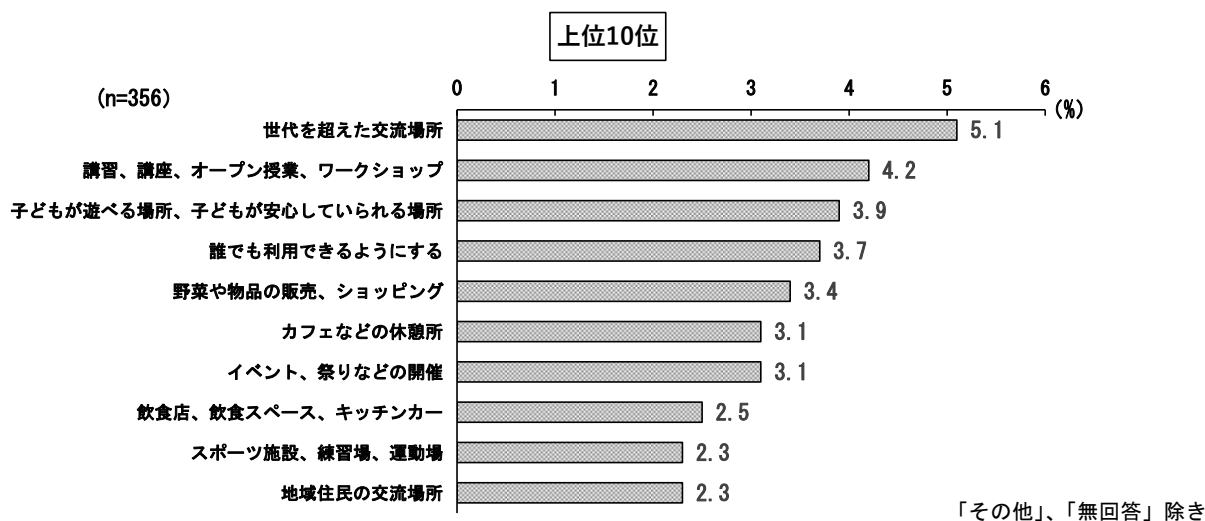
「スペースや施設・設備の共有」が34.8%と最も多く、順に、「地域の人による見守り活動」(19.1%)、「大人と子どもがお互いに得意なことを教え合う活動」(16.3%)、「地域の人が勉強や昔遊びなどを教える誰でも先生」(15.2%)と続いた。



性別、年齢別、居住地区別で、「スペースや施設・設備の共有」が上位であったが、それ以外は、階層毎の順位にバラつきがあった。

4 「これぞ」というアイデア

最後になりますが、みんなが集まる地域の拠点を創るにあたって、「これぞ」というアイデアがありましたら、自由にご記入してください。



本問についての回答者は、356人中151人で、回答率は42.4%であった。意見を内容別に分類（複数の内容に関して記入されたものは、それぞれ分類）すると、合計275件の意見となった。

「世代を超えた交流場所」と回答したのが5.1%と最も多く、順に、「講習、講座、オープン授業、ワークショップ」（4.2%）、「子どもが遊べる場所、子どもが安心していられる場所」（3.9%）、「誰でも利用できるようにする」（3.7%）が続いた。

意見（一部抜粋）

【公園のようなオープンな場所】

- ・学校や地域の拠点は閉鎖的にならずに公園のようなオープンな場所にすべきだと思います。具体的には今ある自然を有効活用して、自然の中で一息つける場所が理想です。丸太の椅子やカフェ、運動できる場所を造って、どの世代でも誰でも楽しめる場所造りをして欲しいです。（10歳代）

【図書館】

- ・図書館コーナーを作り、コミックスを充実させると子供や若い人が集まり、読書への入口になると思います。進修館のようにユニークな意匠のスペースができると良い。キッチンスペースを設けて子供食堂や認知症カフェを開催したい。宮代町には音楽の練習ができる公共施設がないので、スタジオやストリートピアノもあると良いです。（50歳代）

【資料編①】 記述式回答（問9、「これぞ」というアイデア）

※個人のプライバシーに関わるものや不適切な表現、設問の趣旨に合わないもの等については、一部修正・削除してあります。

問9 地域の拠点が完成したら、そこでどんな活動があったら面白いと思いますか。また、どんな活動をしたいと思いますか。

10歳代

- ・普段だと出来ないようなことが出来る場所。人数がいないと出来ないスポーツなど。
- ・音楽の活動。
- ・ポストクロッシング、お絵描き・工作教室、デザインフェスタみたいなイベント、バザー。
- ・お祭りやドッジボールなど、誰でもできる遊びの大会的なもの。
- ・ダンスの発表や、調理実習が出来る場所。
- ・その場所で誰でも自由に活動出来るようにしてほしい。理想はキッチンカーや音楽活動している人が集まること。
- ・お祭りのようなイベントがあるといいと思う。
- ・世代に関係なく、バトミントンなどみんなが知っているスポーツができる活動をしたかった。
- ・同じ趣味の人と情報交換。
- ・同学年の色々な学校の人との交流。
- ・同窓会やパーティースペース、コスプレレクチャー、給食カフェ、コミュニケーションマーケット。
- ・合同のイベントや発表会。

20歳代

- ・料理教室（地域の郷土料理）。
- ・子供向けの活動があればいいと思います。
- ・イベント、保健指導。
- ・祭り。
- ・この場所でならば、フリマで出店したい。
- ・子供が多く集まるイベント（運動会や文化祭のようなもの）。
- ・スポーツなどの大会。バザーなど。
- ・バザーなど誰もが気軽に参加できるもの。高齢者も多いが最近住み始めた若い世代もいるので、全世代が参加し交流できるものが良いです。
- ・祭りなど幅広い世代が楽しめ、多くの人々が集まれるイベント。
- ・小学校の近くに保育施設が少ないため、小さな子供を預けたり、遊ばせたりできる所があったらいいなと思います。
- ・イベント、スポーツ大会など、当日参加OKなど、気軽に参加できるものが良いかと思います。

- ・地域のボランティアによるイベントや活動。

30歳代

- ・将棋、オセロなど子供との交流。
- ・みんなで育てた食材をみんなで調理し、みんなで食べる活動。
- ・子育てをしやすくと、若い人が思ってくれるような場になったらと思いますが、それ以外の人（私とか）も、飲食ができたり、はたまたリモートワークができるような場だと、足を運んでみたいかも。
- ・「思い出掲示板」須賀小学校にゆかりのある人は自由に記入して掲示できる掲示板。こんな思い出がある、こんな先生がいたといったことを自由に書き込んでもらって、これはこの拠点でしか見られなければ、遠方に引っ越した人も見にくるかも。
- ・宮代の自然を活かした創作教室。遊びや運動が気軽にできる活動。子供が集まり、夢や大人になってやりたいことに向けて学べる教室、体験教室など。
- ・子供が走りまわって遊べる環境。
- ・スポーツ祭り。
- ・大人も子供もみんなで楽しめるイベントやがんばっている事を発表できる場。学校の授業で理解できなかった事を子のペースで教えてくれる場。その時その時の悩みを相談できる場（大人も子供も）。
- ・活動といった一時的なものではなく、非現実的なミニ世界を構築するのが良いと考える。

40歳代

- ・駄菓子屋さんのような子供が気軽に立ち寄れる場所があるといいと思います。
- ・昔の事を知る人が少なくなってきたので、そうした事を伝えていける所。
- ・気軽に立ち寄れる場所であればいいと思うので、何か活動をやってなくてもいいと思います。趣味でその場所を使いたい人が使えばいいし、自主学习で使いたい子供が使えるような場所がいいと思います。
- ・料理教室、年配者の交流で、裁縫、料理等、家庭科、図工の延長線の活動、クラブ活動の延長線の活動。
- ・バーベキューやキャンプをしたい。
- ・クリスマスやハロウィン等のイベントや音楽会や花火大会など。また色々な飲食店の販売店イベント。子供達が遊べて大人もくつろげるようなイベント。
- ・子供が喜ぶイベントがあると良いと思います。
- ・ある程度ちゃんとしているレベルの人のワークショップ、ちゃんとしたカフェ。町で空き農地を使って野菜を作って地域を活性化させてほしい。
- ・eスポーツの大会等。
- ・町の保健室として、気軽に健康相談ができるスペース、子供食堂として、宮代野菜を活用したメニュー、作業所作成の食品の活用。
- ・少し大きめの音楽室でコーラスグループが練習したり、広い校庭に遊具が充実していれば、土日でも子供達が集まって遊べると思う。空間や施設の有効利用が大事。

- ・防災倉庫、防災拠点としての使用。
- ・季節毎のイベント、バザー、フリーマーケット。パルクール体験(設備があれば)。
- ・体育館を活用したスポーツ活動。
- ・老人でも障がい者でも、未就学の子でも、みんなが寄りそい助け合いながら過ごせる所にし、日々ふれあえる活動が出来たらいいと思います。
- ・フリーマーケット。
- ・フリーマーケットや曜日で変わる体操や、音楽などを習えるもの。
- ・母が田舎から引っ越してきたので、お年寄りが友達ができる活動場所、コーラス、体操などができたら良いと思います。
- ・週に1回もしくは月に1回など、マルシェがあると面白い。
- ・イベントができるなど。
- ・未就学児を持つお母さん達がコミュニケーションがとれるような場所、お金もかけず、楽しく過ごせるような活動、子供も親もストレスフリーな場所。
- ・イベントの開催。
- ・昔の遊び(竹うま、メンコなど)を、お年寄りから子供達に教えて遊ぶ。様々な理由で、学校に通えない子供のためのスクール(出席扱い)。
- ・今行っている活動を紹介してもらえれば、出席したいと思います(何かに入りたいので)。
- ・趣味で何か活動している方や習い事をしている子供達が発表会、展示会が行える。「何か発表する」目標があると人は頑張れると思うので。また、それを見た人が「私もやってみたい」と思ってくれるのではないかと思うので。
- ・西条原には公園がありません。子供が自由に遊べる場所にしてほしいです。
- ・特別なイベントでなくても、誰もがふらっと寄れる気楽な場になると良いと思います。
- ・英語学童スペースがあったらうれしい。
- ・季節ごとのイベントをやる。子供達を中心に考えた科学的な実験体験。
- ・カフェのように居心地の良い子供食堂があるといいと思います。
- ・母はサンドブラストというガラスに砂をふきつけて絵を描いたりする先生をしていた事がありました。コンプレッサーの音が気になる事や、忙しさで出来なくなりましたが、場所があれば、またやりたいと話しています。父は釣りの毛ばりを作ったり出来ます。私はフォトショップでイラストを描いたり、マメ本を造ったりしたいです。

50歳代

- ・フリーマーケットの出来る所。
- ・映画。
- ・地域の拠点まわりに住宅が建ってほしい。新しい人がくれば(きた方が)、利用すると思う。バーベキューなど多く的人数が一同に使えるスペース。
- ・子供食堂兼認知症カフェ。
- ・地域の拠点として、第一は災害避難場所の核となる場所にする事。第二に野外レクリエーション(バーベキューなど)が自由に出来る場所。第三に芝生で寝転がりができる空間。
- ・養殖等。

- ・カルチャースクール。
- ・現在コロナで地域のコミュニティが廃れてきているので、スポーツなど多人数が集まり、世代を超えた時代に合ったものを取り入れていければと思う。
- ・地元ユーチューバーの生配信。
- ・寄席。
- ・同じ趣味の人達と活動したい。
- ・スーパーマーケットが望ましい。
- ・今までの施設の様子、楽しむだけのスペースだけでなく、そこから小さなビジネスが生まれるスペースとして、仕事の夢も叶えられると良い。
- ・健康体操やダンス等、幼児から7~80代まで一緒に集い、レッスンができる教室があったら参加してみたいです。
- ・世代を超えた交流ができる施設。趣味的なサークルをいくつか立ち上げて、喫茶室や駄菓子屋等の集まれる所を作って欲しい。
- ・子供達が体を動かして遊べるアスレチックやイベントなど。
- ・運動。
- ・カルチャースクールのようなもの。
- ・気軽に体を動かす事ができるサークル活動。
- ・発表会、展示会、販売など（不定期）。
- ・展望台。ローカルラジオ情報発信（災害時にも便利）。レンタルスペース、（高齢でやれなくなった休眠の）畑など、花で荒れないようにすると人が観に来てくれる。
- ・宮代町で使えるポイント制。
- ・世代を超えて活動が出来たら良いと思います。
- ・地域を知るための歴史散歩。星空観測。
- ・年齢を超えて、伝統芸能をつくり出す。

60歳代

- ・進修館や図書館で行っている映画などを・・・。
- ・お祭り。
- ・図書館とカフェ併設。
- ・スポーツ、教養共に学びたいです。地域の人達と共通の話題を作って行き、それを広げていきたいです。楽しみにしています。
- ・誰かと話せる、会える、知り合う。
- ・一般町民が活動可能な施設。
- ・放課後子供教室、夏季休業中の基礎学力向上教室。
- ・参加した人達が専門家の助言を得ながら、いろいろな問題解決のために行える研修や、集会が出来るところがあり、そこに来られた人達の誘導をしたりしたい。
- ・毎日子供のスポーツが実施されている。曜日毎異なるスポーツ。
- ・愛犬家の交流（子供達に命の尊さを教える場でも良い）。釣りやハイキング、キャンプなど同じ趣味を持った人の会合（子供達が趣味、興味を持つための集会）。
- ・若い人が集まれる（例 バンド等の発表が出来るところを備える）。
- ・ペットが集まる場所を作り、子供とも交流できる。
- ・周辺地区のお祭りの会場。

- ・進修館までは遠いけど、須賀小学校までだったら行けそうなので、みんなが笑ったり、歌ったり、踊ったり、安心して、子供達が遊べる拠点があったら元気が出ると思う。
- ・野菜を作っていますが、月1回位家庭菜園をしている人の市。
- ・常設、あるいは定期的なフリーマーケット。
- ・紙飛行機、石けり、ゴムとぼし、古い物の展示、使用、おはじき等。
- ・誰でも気軽に入れる教室のリフォーム。時間を決めて音楽を流したり、楽器の演奏（大人の有志）をする。
- ・大人も子供も遊べる活動。音楽とかスポーツとか。
- ・いろいろな趣味（園芸、手芸、絵画、木工など）が学べたらありがたいです。
- ・地域の方とふれあえるイベント。
- ・趣味を生かした場所、手芸、編み物、軽運動、そば打ち。
- ・フリーマーケット。
- ・趣味、特技を活かして、年代を超えて地域のコミュニティの交流の場。ボランティア活動による子育て、教育の支援活動の場。
- ・健康作りとして散歩（遊歩道）が身近にできる場所が良い！
- ・「その場所に行ったら何でも解決できる」お手伝いができれば。
- ・子供食堂と、老人がいっしょにくつろげる場所。自主学习を教えるサポートの人の充実。
- ・食に関する活動。例えば主食のご飯（米）の銘柄別の勉強で知識を高めてから、特徴を活かした料理法、調理体験をして、家庭で家族等に食してもらおう。食を通して、健康意識を持ってもらいたいです。
- ・体験しながら交流を図る。手作り（花や作物含む）、趣味の作品の交換、販売会など。
- ・イベントや催し物。
- ・宮代産の野菜を使って子供達とお料理を学び、食育の大切さを小さいころから学んでほしいとの願いから、大人と子供達合同の料理教室などがあったら面白いと思っております。

70歳代以上

- ・個人の個性が発揮できるやりとりの出来る場所。
- ・年をとっても楽しめるいろいろな運動。
- ・高齢者で料理が出来ないので、何か作れる様になりたいです（料理講習会）。
- ・子供に元気を。
- ・小学校。
- ・音楽会、合唱。
- ・人との交流が出来る環境。
- ・ボルダリング。
- ・自治会・町内会の情報共有活動。
- ・須賀小学校を囲む各地区の公民館の元締めの役割になるのか？
- ・道の駅のような野菜や食堂（給食を安価に提供）。
- ・空き家が多くなって来ているので、その場所で新しい事が出来ると、またにぎやかになるので。草など生えて困りますね。

- ・図書館、世代交流、小学校の活動の場を見学できる。
- ・OB との交流、社会教育、PTA との更なる交流。
- ・軽運動のスポーツ。
- ・趣味を活かしたクラブ活動が出来たらと思います。
- ・地域の人達と子供達が交流できるような催しが出来るもの。
- ・朝市などを定期的にする。
- ・体を使って楽しむことができる場所。
- ・体調があまり良くないので、いろいろな活動は無理です。
- ・活気のある白岡市と手を結んで、若い働き盛りの人を取り入れ、財源を確保して、発展させて、生き残りを図る。
- ・歌謡会（高齢者のための）、文化的イベント（年代を問わず、美術展、音楽会、食事会）。
- ・子供、老人だけでなく若い人も来場するような工夫。
- ・地域の発展のために多くの種類のボランティアがありますので、ボランティアが出来るようにしていきたいと思います。
- ・特に活動が思い付かないが、その都度、案が出た時に、まず活動してみる。
- ・軽喫茶、思い出の音楽、お茶、コーヒー、香りのハーブティー等。トースト、お粥、漬け物等、少しの日常、冷暖房等のアレンジ。
- ・和の文化を多彩に楽しめる拠点。衣食住学習のワークショップ基地。和装で街歩きをする機会、仕度は拠点で。
- ・障害者なので、活動したくても前が出る事ができない。特に耳に障害有りです。
- ・災害情報のより早い取得の収集化対策と周知方法の講習会（定例会の実施）。災害対策のための事前の対応。収集等の定例的な講習会の実施拠点化。
- ・簡単な体を動かす体操の様なこと。脳の働きを活性させるような事（機械の導入等）。
- ・文化的な発信があれば、足を運びます。
- ・コンサート。歌う会。
- ・共通の趣味を持つ人達と交流の場が出来る。
- ・あえて「活動」を目的とするのではなく、まず人が集まりやすい雰囲気づくりから始めて、そこから多方面の活動につながればよいかなと思います。
- ・地区のコミュニティ。
- ・夏祭り（盆踊り）。
- ・子供達との交流が出来たらいいと思います。
- ・子育て世代とシニア世代が一緒に楽しめる場として、昔の遊び道具を用いたりかるた取りなど・・・。
- ・農園や園芸を楽しみたいです。
- ・スポーツができ、人とのふれあいの出来る活動。
- ・町役場の出張所を置く。スーパーの設置（活気がでる）。高齢者等の食事の提供場所。
- ・いつでもフリーマーケット（野菜、衣類、本、雑貨など）。
- ・人との交流。
- ・囲碁、カラオケ等の同好会活動、サロン。
- ・子供達が交流出来る場所。
- ・園芸で花を咲かせたり、共同できれいな設備を！

- ・運動が出来る事。気軽に行ける事。
- ・私は高齢です。若い世代の意見を取り入れていただきたいです。
- ・大人、老人、子供と一緒に遊んだり、学んだり出来る場所。
- ・街の劇団（老若問わない）。
- ・地域の拠点空間や施設、設備を使いやすい方法で共有することにより活性化する。
- ・世代を超えての交流（特に子育て世代から高齢者）。憩える場所（カフェ、お茶、軽食店等）。子供達が自由に遊べるスペース。地元の野菜や果物を直売出来るスペース。
- ・町内だけでなく、駅が近い地の利を活かして、隣町との交流が出来る場になると良いと思う（同好会や発表の場など）。
- ・積極的で活動的な方でしたら、どんな事でも参加して楽しめると思います。「どんな活動がしたいか？」はお金のかからない事が最優先。
- ・グローバル（global）の中で、「人は学び続けなければならない」福沢諭吉。
- ・年寄がふらっとよって楽しく話せる場所。
- ・ボランティア活動を始められる場。
- ・大人も子供も出来るグランドゴルフやパークゴルフ。
- ・大人と子供が交流できる活動があると良いと思います。
- ・運動が出来る。
- ・大人も子供も遊べる所。
- ・花壇を作り、草花を植える。
- ・部活の発表などの時、地域の住民が見学できると良い。
- ・スポーツは、卓球、ほか少人数（2～3人）のできるもの。趣味は、各種楽器を使うもの（ハーモニカなど）、麻雀等遊戯、詩歌、俳句サークル。

年齢無回答

- ・楽しい場となること。
- ・民宿施設、温泉、サウナなど。
- ・カルチャー教室のような場所。

最後になりますが、みんなが集まる地域の拠点を創るにあたって、「これぞ」というアイデアがありましたら、自由にご記入してください。

10歳代

- ・様々な活動作り。
- ・誰でも出入りのしやすい雰囲気にしてほしいです。
- ・須賀小学校区域の良さを詰め込んだり、自然のある場所が良い。年の差があってもみんなで楽しめる共同の場が良い。
- ・K-POPなどのダンスを教え合ったりする。大人も子供もピアノを教え合ったり、発表会をする、料理をする（スイーツやご飯）。子供の夢を叶えるために支えるところ。
- ・学校や地域の拠点は閉鎖的にならずに公園のようなオープンな場所にすべきだと思います。具体的には今ある自然を有効活用して、自然の中で一息つける場所が理想です。丸太の椅子やカフェ、運動できる場所を造って、どの世代でも誰でも楽しめる場所造りをして欲しいです。
- ・みんなで集まるイベントを定期的に行う（様々な学校の人との交流）。
- ・小学校が拠点になった場合、セキュリティ面が心配です。学校部分と、みんなが集まる拠点は区切ってもらいたいです。学校のPTAにも関わってもらいたい。ベルマーク集計など、話しながら、楽しくコミュニケーションをとるなど・・・。

20歳代

- ・子供達が遊べるスペースや地元の名産品を味わえる飲食店やカフェがあればいいと思います。
- ・外部からの集客を望むのであれば、「フリマの開催」が良いと思います。アメリカ系などのマーケットなら私も足を運びたいと思いますし、同年代の方も然りだと思います。プールを活用した釣り堀。海によく釣りに行くが、4時間と遠すぎるので、海の魚を釣りたい。または、夏に水遊びできる噴水。小さい子連れの親が小1時間潰せるようなミニ動物園（リス、ウサギ、ヒヨコ、小鳥、ヤギなど、東武動物公園と連携して）。展望カフェや屋上での天体観測スポット（出入り自由）。東武動物公園と連携して花火が見れる展望台。町の飲食店が出店を出し、ビールを軽く飲めるようなビアガーデンのようなもの。新しい村の出張所（朝市開催）。今の子供に馴染みのない駄菓子屋を設置。昨今のレトロブームの波に乗って、レトロ感溢れる溜まり場。和戸駅周辺の活性化を何卒よろしくお願い致します（西口開発、コンビニなど）。
- ・農業が盛んな地域なので、地産地消を狙って、直売所やカフェ、パン屋、軽食、農作業している方の休憩所など、ふらっと誰でも立ち寄れるような所があったらと思いました。子供とよく周辺を散歩しているので、少し休憩でき、交流できるスペースなどもあったら嬉しいなと思いました。子供の数が少なくなっているため、それも改善に向かうような施設だったら活性化につながるのではないかと思います。
- ・発表会。
- ・須賀小学校側の和戸駅西口改札が無いので、まずそこからだと考える。

- ・アスレチックの家？地下は迷路、出入口は数か所、出入口には、柵を作る。1Fは読書スペース、未就学児の遊べるおもちゃ部屋、大人が座って子供を見ていられるスペース、椅子など。2Fは一部を吊り橋？全部が網のはし（両サイド、下面）、またすべり台を作り、吊り橋から下りる方法と、普通に登って下りるすべり台などあれば楽しく、雨天でも、親子連れでも、いつでも遊べるスペース、場になるかと思います。みんなが集まる地域の拠点という事でしたので、何か今までにない変わった事かと思いついてみました。頑張ってみんなが集まる地域の拠点を・・・楽しみにしています。
- ・共働きで子育てをしており、子供が小学校在学中には、夫婦共に帰宅時間が遅くなってしまふ懸念があります。児童クラブを利用するつもりではありますが、私達が帰宅するまでの間や、大きくなってからもお友達と遊ぶ時などに安心して楽しく利用できる施設ができてくれたら嬉しいです。また、家を巣立った後にも帰ってきたくなくなるような、ほっとする場所にしてもらえたらいいなと思っております。

30歳代

- ・暇な時など自由に集まり、話とかミニゲーム、ボードゲームなど自由に対戦し、仲よくコミュニケーションが取ればいいかなと思います。
- ・ロケ地としてフィルム・コミッションなどで紹介する。進修館のようにコスプレがしやすい場所にする。小学校という場所を活かせるかもしれませんが、「地域住民の拠点」からはちょっと違うのかもしれませんが。地域の活性化と、認知度の向上を図るのも良いと思います。
- ・一人ではなく誰かとじゃないとできないことを学ぶ場を作る。
- ・基本は子供を預けたり、遊ばせておくようなことができる場。その間、お父さんお母さんは外で仕事をしたり、その場で他の人と交流があっても良い。ついでに、上記に矛盾しない範囲で、飲食店や人によってはリモートワークに活用できるような場だと、利用する人が多いかもしれない！
- ・写真撮影が趣味ですので、須賀小学校の桜の木やシンボルのかえでの木、体育館に確かあった校歌の額などの撮影をしたいなと思っていましたが、物騒な世の中ですので、男性1人で行く気にはなれません。周囲の方にどうしても遠慮してしまうので、男1人でも気軽に立ち寄れる場所であり続けて欲しいなと感じます。最近ではテレワークも一般化しておりますので、ノマドワークといえますか、そうしたワーキングスペースとしても活用されるようになればいいなと思います。もちろん女性1人での利用もしやすく整備すれば、自然と人が集まってくるのではないのでしょうか。
- ・コロナの終息が見えない中でも、気軽に集まれるような場所があつて欲しい。特に子供同士で楽しめて学べる場所が欲しい。今の子供達には、お互いの家を行き来して遊んだりする文化も少なく（コロナの影響や、働く親が多く、学童に入ったり、習い事に行ったり）、交流が少ない（学校の外での）。学校の一部を開放し、他の学校、幼稚園児、未就園児など立ち寄って遊べる場所があるといいと思う。「(子供に限らず)学校に遊びに行く」というスタイルもあつていいと思う。これぞというアイデアでなくてすみません。
- ・映画やドラマ、YouTube等の撮影場所提供を行い、話題性をつくる。

- ・堅苦しい感じではなく気軽に、気楽に行けるような雰囲気だと行きやすいかなと思う。個人的な相談など、プライバシーもしっかり守られるようにしてほしい（地域の人だからこそ話して広まると色々面倒）。
- ・久喜、春日部等、近隣公園は、シンプルな所が多いことから、南国をイメージした爽やかで、かつ人々が癒される場所があったら非常に魅力的であるとする。

40歳代

- ・バーベキューやキャンプ場があれば、行ってみたい。
- ・アスレチックや健康器具のある大きな公園があれば、子供からお年寄りまで皆が集まる場所になるのではないのでしょうか。体を動かせる場所を是非充実させてもらいたいです！
- ・「これぞ」というアイデアはありませんが、子供が安心して立ち寄ることのできる場所になると良いと思います。
- ・春、夏、秋、冬にワークショップイベントをやってほしい。キッチンカーなどを呼んで。美術に特化した町にしてほしい。遊ぶなら都内派なので、(昔から)ずっと地元ですが、本当昔より子供も少なく高齢者が多すぎるので、もっと町で遊びたいクオリティの高いイベントにしてほしい。技術や資格をもっている、持て余している人も多いため、そういう人達が活動できる場を与えてほしい。共働きにもっともっとやさしい地域になる事を願います。
- ・駅から近いので、eスポーツの聖地を目指すと良いかもしれません。
- ・飲食店が集まれば、人も集まりにぎやかになる。
- ・みんなが集まれるように、バス運行等の公共交通機関の充実を図る。
- ・東武動物公園から小動物を借りてきて、ふれ合う。ドックラン。
- ・宮代町は歩道が整備されておらず、また子供が気軽に遊べる公園も少ない。新しい小学校が、子供達だけでなく、地域のお年寄りも立ち寄りたくなるような施設になれば、高齢者が元気に過ごすこともできて良いと思う。
- ・小さな子供たちが集まる施設として、小学校の敷地内へ不特定多数が出入りすることは防犯上、また実際に須賀小学校へ子供を通わせている親からしてみれば、不審者の侵入など心配が尽きないことと思います。人が集まる施設とするよりも、もともと災害が起きた際の避難所として指定されているので、その役割をこれまで以上に強化するという意味合いで使用するのが望ましいと考えます。
- ・季節の行事を学校のスペースを借りて行う。正月、節分、ひな祭り、夏祭りなど。人口が減っているため、各エリアで行っているものを1か所にする。
- ・eスポーツ大会までいかなくとも、ゲーム大会とか面白そう。昔の遊びを教えてください。メンコ、竹馬、おはじき、ゴムとび、田んぼの田、缶けり、どろけい。職業体験。地域性の強い祭り、宮代なら梨や巨峰がテーマの大会、毎年1回行われる定例祭り、米俵転がしレースとか。
- ・高齢者と子供が接する、楽しめる様な施設があると良いかと思います。お互い刺激があると、良い方向に進む可能性があるかと。
- ・昔の遊び（竹うま、メンコなど）を、お年寄りから子供たちに教えて遊ぶ。様々な理由で、学校に通えない子供のためのスクール（出席扱い）。ドックラン。趣味（習い事）の場（三味線、琴、そろばん、お花、お茶など）。

- ・地域の拠点として、地域住民が優先して使う場所をコンセプトにするには、体育館や調理室を活用した文化活動、スポーツ活動で良いと思いますが、施設利用するのが地域（特に須賀地域）を対象にしてしまうと、高齢化が進んでいるように感じるので、利用はかなり限定的になってしまうように思います。そのため、維持管理コストも余計にかかると見込まれるので、人を町外から呼べるような施設（例えば、グランピング、ワーケーション施設、極端な例になると日帰り入浴可能な温泉施設など）を整備し、来訪者に宮代町を気に入ってもらって、定住につながる取り組みを進めていただけると良いのではと思います。
- ・校舎を建てなおすのなら、子供が減り、学校として利用できなくなった時の事も考えて、老人ホームや障害者のグループホーム、ケアホーム等に再利用できるような建物にするとか、太陽光パネル等設置し、電気を作り、それを利用できる様にするとかできたらいいと思う。階段を1段1段低くするとか手すりをつける、廊下を広くとる、建物両端、またはまん中にエレベーターを作る。車いすの人も上の階に行き来しやすいように。学校の中に老人ホームや保育園、障害がある子もいられるスペースがあり、子供達とのふれあいが普通にあればわざわざどこかに行って、ボランティア体験や学習をしなくても毎日できるし、幼い子供達とのふれあいの中でいろいろな事を学び感じる事が出来ると思う。隣りの中学校ともたくさん連携したらいいと思う。
- ・子供達に世の中にはどんな仕事があるのかを教えるために、誰でも先生になって教えられるのはどうか。例えば町で働く大工さんの親方が先生になって、大工の仕事の内容、どんな勉強をしてどんな資格がいるのか、そのためには何を専門に学ぶのかを教えてもらおう。そうすれば高校や大学選びが自分のやりたい仕事に近づける学校を選択すると思います。私自身、子供の頃もっといろいろな仕事を知っていたらもっと勉強したのになと思う事が多々あります。今、看護師ですが、理学療法士や薬剤師などは大人になってから知った職業でした。「世の中にはこんないろいろな仕事がありますよ」と子供達に教えたいです。
- ・誰かしら何か出来る事があるはずで、特別な人だけが利用するのではなく、皆がやりたい事を出来るような場所に出来るといいと思います。コミックマーケットの様なイベントもいいですし、文化会館のように描いた絵や物を展示したり、歌や音楽を披露しても良いと思います。自転車のメンテナンスや、パンクを直す場を設けても良いかも。ゴミや物があふれるような事がないように期間を決めて使用するようにして、トイレや水場の掃除、電気代は考えないといけません。クリスマスには校庭ライトアップとか、どんど焼きをすることもいいですね。災害に備えて避難訓練とか、農家の方の野菜の育て方教室とか、商業施設とコラボとかしてイベントが開けるよと楽しそうです。昔のように、ワクチン接種とか出来るようにしても良さそうです。電気を消して星空観測会とか校庭キャンプとかやりたいですね。
- ・民業圧迫にならない程度で「町営の老人ホーム」を併設すると、収益以外にも副次的な利益があると思います。もしくは、東武鉄道が行っているリモートワークスペース事業の連携。または、オンライン事業を小・中学生に提供。田舎が魅力的になるには、ハード面では勝てないので、ソフト面で勝るしかない。「目指せ東大」などなど、プレストをしてもよいと考えます。

- ・須賀小学校区域は、飲食店が少ないです。退職された高齢者も多く、余暇を持って余している人も多いです。現役世代は、子育て・仕事と慌ただしく過ごしています。子供食堂など、そこを繋ぐ場所があるといいと考えます。

50歳代

- ・おしゃべりしましょう。
- ・子供は少なくなる、地域の過疎化も進む中、箱物をつくらず、10年後にまた変えられるようにしてほしい。
- ・図書館コーナーを作り、コミックスを充実させると子供や若い人が集まり、読書への入口になると思います。進修館のようにユニークな意匠のスペースができると良い。キッチンスペースを設けて子供食堂や認知症カフェを開催したい。宮代町には音楽の練習ができる公共施設がないので、スタジオやストリートピアノもあると良いです。
- ・宮代町には自然があると言われていますが、公園や自由に使用できるスペースが少ないと思います。東京都内と比較しても少なすぎます。校庭はオール芝生。教室は予約せずとも使用できるフリースペースへ。幼児、高齢の方々が遊び、休息できる場所として案内、屋外に音楽やラジオを流す。
- ・以前テレビで観ましたが、魚を養殖し、その水で植物や野菜を育て利益を上げている会社がありました。そこで育てた魚や野菜を販売したり、調理できる店を併設したりできればと思います。民間の力を借りながら、シルバー世代や福祉作業所等にも手伝ってもらいながら、やり甲斐や生き甲斐を見つけて楽しく生活する場が増えていけばと思います。大変な事業かと思いますが、頑張ってください。
- ・進修館のような場所になると良いと思います。
- ・特にこれというものはないのですが、できるだけ自由度の高いものにしてもらいたい。
- ・夜周辺が暗いので、家の門灯を点けてもらったり、街灯を増やす。夜9時位まで使える施設にしてほしい。散歩中の人気が気軽にトイレを使えるようにしてほしい。
- ・前にあったふれ愛センターのように、大人と子供が活動できる場所があると良いと思います。
- ・宅配便などの荷物を出荷したり受け取れるステーション。バス停として、バス利用者が利用できるカフェなど休憩所。和戸まつりなどイベントができるスペース。スケボーの練習場。
- ・和戸駅西口開設。スーパーマーケット誘致。道の駅。特産品販売。
- ・須賀小学校周辺は市街化調整区域だから、まずはそれを外し、人口を増やすことからやらなければ、ますます過疎化が進んでしまうようではない。あとは、大型ショッピングセンターを誘致し、若い人達が住んでみたいと思えるようにする。
- ・子供も高齢者の方も楽しく参加できるようなイベントを定期的で開催する（コマ大会や、あやとり大会や、ゲートボール大会など）。
- ・学校が主の場ですので、安全の確認、エリア、出入りの確認などは必要。コミュニケーションが増えてほしい。国際的な世代が増えてほしい。

- ・地元の人だけでなく、東武動物公園利用者が宿泊できて、そこに泊まると宮代の魅力を知る事が出来る宿泊施設。DIY が楽しめるスペース。一人暮らしのお年寄り向けのお弁当作りのスペース。シニアの見守りで、子供の一時預かりが出来るスペース。
- ・給食レストランで子供と同じ物が食べられる。自校式給食なら自由度が上がり、地域で採れた野菜を使ったり、日常的に職業体験ができたり、「須賀小学校・中学校」の特色となるかとも思います。食育活動の普及。活動スペースで、体操する。給食レストランで食事と長時間の利用滞在により、交流を深める機会の場としての機能。
- ・高齢者や子供が孤立、疎外感を感じない、人と人との交流の場にして欲しい。子供達にはさみしい想いをせず、なんでも相談できる大人が居る安全な場所を提供する。高齢者には、一人暮らしでも子供達や地域の方々と交流できる場所を提供できる。できたら住宅を安価で提供できると良い。地域の方々には、いつでも地域の方々が集まれる憩いの場やイベント会場として活用してもらえば良いと思いました。
- ・家庭菜園のアドバイスや実演。
- ・須賀小学校の建物の一部を利用するという点では、卓球場が良いのではないかと考えました。小さな子供からお年寄りまで出来るスポーツですし、体力作りや健康増進、色々な世代との交流も生まれるかと……。卓球台が災害時にパーティションなどにも利用できそう。車移動が多い所ですので、近くには駐車場の確保が必須なため、駐車場工事の際に例の残土利用（有害でないことを確認しないのですが）できたら、そちらも解決して良いかと。須賀地区は住居にできないため、本当は和戸駅西口ニュータウン化で人口が増えたらと思いますが、それが無理な他から人が集まってくる場にするしかないかと。
- ・「おもちゃのお医者さん」のような、年齢や知り合いという枠を超えて、年配の方が長年にわたり培った知恵や経験を子供達に伝えていくことができたかとも思います。持っている経験を伝えることにも生きがいを感じるし、子供達も家族や先生から得られるもの以外にも吸収し、豊かな心が生まれると思います。人口が多すぎない点も、いろいろなことを始めるのに、皆が主体的になれるチャンスだと思います。せっかく同じ町に住んでいるので、交流の場があるといいと思います。また、その場合「学校」という場所は、親たちも少し安心なのではと思います。自然の中にある「学校」という特性を活かし、誰もが安心して利用できる場所がほしいです。皆で新しい文化（伝統芸能）をつくるのも楽しいのでは。

60歳代

- ・脳トレ、体力クラブ、クイズ等を一緒にでき、食育に関する事（手作り料理の販売）等も自由にでき、談話をしながら食事したり、話題の交流も出来れば、お互いに教養も身に付いていけるのではないかと思います。期待しています。
- ・お茶ぐらい飲んでゆっくりできたらいいかな。楽しくなりそう。
- ・和戸駅周辺の開発。道路整備。都市ガス。若い方が住めるように、住宅地整備。
- ・子供の人数が減少傾向のため、空いている土地や教室の活用。
- ・明るい雰囲気モールのような施設。
- ・ペットが集まる場所を作り、子供とも交流できる。

- ・(コロナ感染が落ちついたら)幼時から老人まで自由に集まり楽しめるイベント、秋祭り、ゲーム大会、バザー、文化的発表会など。人気者、役者や芸人などの発表の場(小中高生も可)。
- ・シンプルで意外性が有り、参加したくなる様な、同じ方向をみて互いに支えあえる仲間が出来て、また行きたくなる様な場所、難しいとは思いますが。年齢や男女共に考えるには一概には言えないと思います。
- ・スポーツ少年団ではなく、宮代子供スポーツ団のような町が一つになったサークル作りと、全員が集まったイベントで町全体を盛り上げる活動。老人が元気に活動できるような継続的な取り組み。話、体操、取り組みが得点化できるもの。
- ・須賀小学校だけでなく、須賀中学校も含め、考えを進めたら良いのではないのでしょうか。例えば、須賀中学校で野球部員が9名揃わない現状で、小学校と須賀中、それに地域の野球経験者などが一緒に活動できる時間と場所を提供する。コーディネーターを置くのはどうでしょうか。自宅で犬など動物を飼うことができない子供達に犬と触れ合う時間と場所を提供するなど様々考えられます。小学校の行事に地域の人達を引き込むことです。
- ・学校の駅として、野菜等の販売を可能にする。画廊として、絵画等の展示、販売を可能にする。趣味工芸含む。スタジオとして、防音作りにし、ピアノ(常設)、管楽器等大きな音が出せる。舞台として、簡単なコンサート、ダンス、踊り等できるスペース。
- ・学校の校庭を自由に出入りできるといいと思う。特に休日等に利用できれば、子育て世代には良いと思う。今は安全面でグラウンドも校庭も何もかも閉ざされており、不自由な感じがする。昔はもっと、自由に子供が自分の主体を大切に世代を超えて生活していたように思う。いろいろな物を使ったり、作ったりするよりも、子供が考えて行動できるようにすることがよいように思う。町でどのような活動やスペースを作ったりしても、利用するのは、ほんの一部の人間。税の利用は平等にも、公平にもとつくづく思う。
- ・日本庭園風の公園など。
- ・宮代町内の隠れた才能の方や、いろいろな分野において、また楽しいイベントがあれば。
- ・かえでの樹を中心にしたイベントや、かえで向きに設置したベンチ。
- ・集まるのは、お店などがなければなかなか集まらないです。その他、スポーツなら、試合や練習会場。
- ・老人ホームとは違い、1人暮らしになった時、気軽に食事とか他人とお茶が出来たらいいかな。
- ・ありきたりの施設にしたら長続きしない。何か具体的に生産性のあるものや、施設を十分維持管理できる利を生むものを作るべきだと思う。
- ・小・中・高・大そろっている、各クラブの練習場所。宮代町内の各種団体の練習発表会。
- ・子供はのびのび遊べるアスレチックを。高齢の方には、送迎バスを利用してもらうよう手配して、みんなとおしゃべりする、ゆったりなお部屋作り。赤ちゃん連れてお母さんたちがおしゃべりするゆったりなお部屋。お祭りをしてみんなで楽しみたい。
- ・食育を目的とした作付から収穫体験、食堂運営(利益を出す)。子供食堂の設置。学童とは違う(年齢を決めない)、働く親のための預かり施設(学習指導)。

- ・グラウンドをドーム型にして、荒天でも利用できるようにする。体育館をアリーナ型にして観客を入れやすくする。学校周りの田園の環境破壊はしない。天文台を作る。歴史に残る造形にする。
- ・土地が安いからと若い世代が家を買ってくれても、小学校が遠いと思捨てられる。もし小・中学校を調整するのなら、小・中一貫校などの高いレベルの教育を目指すべき。スクールバスなどの交通手段を確保すべき。
- ・ここを拠点に花を種から育て、町を花いっぱいにしたい。ここを拠点にスイーツなど町の特産品を作る。ここを拠点に宮代町はぶどう（巨峰）が有名なので、もっと力を入れて売り出す。ここを拠点に一人暮らしのお年寄りに支援ができればいいと思います（食事など）。
- ・役場の支所を作ってほしい。
- ・誰でもふらっと立ち寄れる、開放的で見学ができるものにして欲しいです。あとは情報を多く出して、何をやっているか分かれば、参加しやすく、また興味も持てると思います。
- ・身体活動・運動の拠点。校庭の平坦な所、校舎の階段を使つての運動です（室内、屋外でできるようにする）。ご自身の「健康年齢」を知った上で、目標を立てて健康作りに誰もが参加出来たら、生活習慣病予防へのモチベーションアップや、医療費の削減にも繋がると思います。埼玉県コバトン健康マイレージを使った取り組み。昔なつかしい町並み、昭和レトロな遊び場、これを利用して、映画・ドラマ等のロケ撮影誘致をする。
- ・コロナ禍で不登校、ひきこもり等、心に関わる問題が表面化していると聞きます。宮代町では高齢者、知的障害者、身体障害者が活動できる場をこれまで作ってこられたと思います。不登校の子の居場所も考えられ、活動がスタートしたと聞いています。しかし精神障害者の活動しやすい場というのは、どこの地域でも難しく、宮代町にどのくらいの数の方がいらっしゃるかわかりませんが、その方たちが集まりやすい場を「みんなが集まる地域の拠点」の中にあつたらいいなと思います。ふれあい農園やふれあいガーデン、お茶をいただけるオープンスペースが心を開いていける場となつたらいいなと思います。
- ・若い世代を増やし、若者が自由に発言できるようにする。
- ・宮代町の将来を見て、農業人口を増やすための田植え・稲刈りの作業を子供達に学んでもらうための期間（体験）を年間計画する。そのための支援教室を開校する、部屋を作り学ぶ場所とする。農業を例としたが、年間を通じて、商売体験、品物作り、小売業も加えて、「自己産業支援学校」を週に2時間開校する。対象は小学生4年生から中学生までとする。誰でもというと、遊びだけで終わってしまう。自分が将来どうするのかを見直す時間を作る（各業種のレジェンドの方を講師として学びを深め、実施に従事している方に体験時間・場を使つてもらい経験をする）。

70歳代以上

- ・趣味の集いの後、スポーツをした後の休憩できる場所（コーヒー、お茶などが飲める）。
- ・歴史ある須賀小学校を残してほしい。あと病院を作つて下さい。
- ・子供の集まる場所。子育てママの情報交換場。子供食堂。

- ・アイデアのある人から色々と教えて頂ける自由な場所として使用できればありがたいです。
- ・子供の為に校庭だけはそのまま残してほしい。
- ・デイサービスは年寄りだけ、学童は子供だけ、現役世代は働くだけ、何か接点はないのかなあ？
- ・ロールプレイング、オレオレ詐欺。人気のある物の販売（おいしいものやラーメンNo.1）。休耕田の利用、有料市民配布はやめて、日工大や宮代の小・中・高を利用し、大々的に野菜を作り無料配布。
- ・現在ある各地域ごとの見守りの人々が集合し、拠点を作るにあたっての原点になると思います。ただ道に立っているだけでなく、前後に学校で交流の場があればそこを出発点として・・・。
- ・宮代天然温泉。
- ・体育館校舎内に。
- ・誰もが気軽に立ち寄り、交流が出来る催し。
- ・オープン授業。地域の人々に、子供のためになる話や活動を小学校へ提出させ、先生にセレクトしてもらおう。子供の成長に良いと思う事があったら、学校からその提案者に要請して授業を行う。例えば、桜とは、唱歌とは、童謡とは等。
- ・気軽に人と人がつながり、交流出来るようになれば最高ですね！
- ・駐車場を作って頂きたいです。災害時の避難所（畳の部屋など）。
- ・時代物、現代物の幅広い文化を取り入れてみたらどうか。
- ・公園が少ないので、小さい子供や誰でも使える遊具があるスペースがほしい。
- ・スポーツジムみたいな所。老人ホーム。
- ・皆様が集まりやすい場所。公園、総合病院。
- ・現在は車での行動ですが、先々バス利用になると思いますので、ショッピングモールのような施設が出来ると便利でいいですね。
- ・散歩の途中でも寄れるトイレ（役場の広場にあるような）があるといいね。子供達が親子で遊べるもの（場所）があるといいね。
- ・須賀地区は高齢者が非常に多くなり、反対に児童数は減少が続いている中で、両方がうまく教え合う事によって、刺激し合う事によって、双方に益をもたらす環境を作れると良い。
- ・地域の活性化にともない、多くの人々の知恵を出し合い、宮代町住民が充実した行政サービスを末永く受けられるようにしていくことを望む。
- ・町の行事やコロナ接種、その他、進修館まで行かなくても近隣の住人同士が顔を合わせる機会のひとつになるのではと。ふれ合いの出来る行事？イベント？
- ・小動物を飼い、子供や老人が共に世話をする。周辺の少数の人々しか来場できないと思うので、公共交通（町営バス、乗合タクシー他）の充実が必要。町の人口を増やし、税収を増やすためにも。モールはどうでしょう。1階には「新しい村」に入ってもらおう。他は低賃料で商店を入れさせる。駅に近いし、駐車も運動場にさせればよいし。
- ・新しい施設を作ると、維持費が掛り、将来日本の人口は減少する事が確実なので、それよりも公民館を移動して、駐車場が広い、館内も使いやすい充実した施設にしてほしい！もうこれ以上、上物は作らない方がよい！
- ・地震や風水害等の避難場所として整備して欲しい。
- ・避難所としての機能を考慮して欲しい。

- ・子供達が積極的にいろいろな考えを自由に発表したり、頑張っている姿をみると、「これぞ」という何か大人も子供も楽しくなる提案はすぐ出てきませんが、頑張っていきたいと思っております。
- ・災害時の避難場所になると思うので、どの様な改装になるかわかりませんが、人の出入りがなく、ただ職員が多く、あまり活用されない物にならない事を願います。昼間はひとりでふらりと出かけて、軽食、コーヒー等が安ければ、人がいっぱい集まると思う。
- ・外周は、在来馬の飼育と乗馬場、絶滅防止に寄与、(武者)行列。庭は、演舞、野点、挙式。茶室は、庭周りも。舞台は、舞台と畳、楽屋付、当時の公民館の和室は50畳と広く、首都圏の中でも貴重な場所。これを発展的にこの拠点に充実させる。洋の東西に亘る「心の糧」を読み接する場。
- ・週に何度でもトレーニングが気軽に出来て、人との交流もあり、会話をする事により、ボケ防止にも良いのではないのでしょうか？そういう場所があれば連れ添って、時間ある限り出かけてみたいです。
- ・大人も子供も遊べる。母親達が協力して仲間作りができるように役場が力を入れる。
- ・一人一人の性格が違うので、しっかりしたベテランの指導者がいる施設があれば、子供達ものびのび活動できるとか？
- ・年寄りが歩いて行ける体であれば良いが、町のバスが利用できるようにしてほしい。楽しく通えるよう交通支援が大切です。
- ・小学校の環境からみても、体育館が必要、また内容も充分にして置く(内容はぐる宮代の運動施設を模して建て替え、公園の雰囲気を持つ様にする)。
- ・これといった起爆剤は思い浮かびませんが、ステップを踏んで、無理なく進めて、良い方向へ進んでいただきたいです。
- ・第一に避難場所施設の充実。
- ・日本工業大学の学生に対しても、利用に余裕があれば参加を呼びかけ、若者との交流も期待でき、それに依る活性化が生まれれば、今回の主旨に添うものに成ると思うのですが、如何でしょうか！
- ・小・中・高の授業の中で月2、3回でも高齢者との交流、遊びでも、勉強でも(生徒たちが先生)。日本工業大学の方達との生産性のあるもの、産業になるものを作る。高校生も参加する。
- ・我々の年代(昭和30年代後半に小学生)は、年1回の学芸会がすごく楽しみだった事を思い出します。問9の街の劇団を希望したのも、その思いからです。老若問わず参加でコミュニケーションも！
- ・宮代町は長方形の町であるので、道路や交通網の整備を充実させて、地域の拠点としての役割を進め、地域の拠点に行きやすくして、地域のシンボル化を図りましょう。
- ・どういうものができれば良いのかいくら考えてもわかりませんが、子を持つ親は多いが、働いていて、平日は家にいませんし、高齢者が施設にそんなに行き来出来るものなのか。例えば郵便局があれば、それを取り巻く何か達というように利用するのかなと思います。
- ・緑地とカフェが融合した広場、及び商業施設並びに総合病院も。和戸駅西口から散策して、ゆったりできる広場も良いので。コンパクトな街づくりを実現してほしい。誰もが自由に参加できる。

- ・世代を超えた地域の方々が気軽に軽食やカフェを楽しめ、集えるスペース。子供達は自由に遊べる場所。遊具の提供（例えばボルダリング、フットサル、チャンバラ、卓球等のスポーツ）。多種多様の習い事が出来る教室やスペースの提供（和、洋菓子の作り方、料理教室、そば打ち、健康体操、学習教室、グランドゴルフ等）。
- ・一つのイメージとしては、鴻巣市にある「花久の里」（駐車場の確保を含め）。施設の維持管理、採算性をどのように設計するかにより方向性が出る。要は人が集まらなないとダメなので、マーケティング的なリサーチが必要。スマホの普及に伴い、宮代町の特徴のある場所やイベントなどをSNSなどで発信する。「花久の里」のように、NPO 法人を立ち上げて、運営するのも良いかもしれない。
- ・趣味もグループで活動すると楽しい事は理解していますが、そうでない人もいます。積極的になりたい、仲間をつくりたいと思っても出て行けない人や、1 人行動が一番良い人もいます。そういう人もいるという事で考えられたいいなと思います。
- ・東武線の西側には、生活の基本となる「衣・食・住」のうち、「食」に係るものが何も無い。この地区も高齢化が進んでおり、生活（生きていく）のための買い出しが大変になっている。車が有り、自由に運転が出来れば別だが、高齢者は歩かなければ、食料品すら買うことができない（生きていくことが大変）。須賀小学校の跡地に作るべき施設は、まず「食料品を中心にしたスーパーマーケット」であり、これを目的に集まり、その前や後に趣味の活動等が出来る設備（施設）で楽しめれば更に良い（スーパーマーケットは新しい村・結の様な、地産品中心の品ぞろえでなく、一般的な多品種の商品が必要です）。
- ・俗にいう箱物はあまりにもランニングコストがかかり過ぎる。ただし、災害発生時には相当の広さが必要となる。また、水害では少なくとも 2 階以上でなければ役立たない。グランド階はフリースペース？文科、国交省などにとらわれず（無理が通れば道理がひっこむ）、宮代流を作り押し通す。駅近を生かし斬新な施設が望ましい。老人、幼児、心身不自由者などの複合施設など併設。せっかく作るのなら「問 10 の 4」を「使い倒す」意気込みでやってみてください。

年齢無回答

- ・自然に子供達が集まり、遊んだり、勉強したり。コミュニティエリアを分けて、安全的が大事。
- ・須賀小学校周辺は住んでいる年齢層が高いです。その方々には、多くの知識や技術を持っています。裁縫、料理、農業、DIY など昔ながらの技術、伝統を教える機会や場所がないままになっていて、とてももったいないと思っていました。学びたいと思うのは子供だけではありません。大人も学ぶ場所があってもいいのではないかと思います。カルチャー教室のように、気軽に学べる場所、趣味を見つかる機会がほしいと思います。それが伝統の継承、保護にも繋がっていくのではないのでしょうか。それと、子供を抱える家庭で、経済的な理由で、学習塾等に通わせられないご家庭もあります。子供の未来と夢を守るため、低額で学べる学習塾があっても良いと思います。
- ・買物困難者が多い地域であるので、商業施設があると良い。高齢者が食品などを購入することが大変である（須賀小学校区域に商業施設がない）。「道の駅」のような施設。キャンプ場、BBQ などが出来る施設。

- ・須賀小学校周辺は住んでいる年齢層が高いです。その方々には、多くの知識や技術を持っています。裁縫、料理、農業、DIYなど昔ながらの技術、伝統を教える機会や場所がないままになっていて、とてももったいないと思っていました。学びたいと思うのは子供だけではありません。大人も学ぶ場所があってもいいのではないかと思います。カルチャー教室のように、気軽に学べる場所、趣味を見つける機会がほしいと思います。それが伝統の継承、保護にも繋がっていくのではないのでしょうか。それと、子供を抱える家庭で、経済的な理由で、学習塾等に通わせられないご家庭もあります。子供の未来と夢を守るため、低額で学べる学習塾があっても良いと思います。



須賀小学校区域にお住まいの方へ アンケートご協力をお願い

～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～



日ごろから、宮代町のまちづくりにご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

町では公共施設マネジメント計画に基づき、今後20年間で町内7校の小中学校の適正配置を進めているところです。

その第一歩として、須賀小学校については、これからも地域の皆様に愛される施設、皆様が集まる地域の拠点として、再整備を行うことといたしました。新しい施設は、令和9年度の開設を目指しております。

この場所をみんなが集まる地域の居場所とするためには、ここがどんな場所になればよいでしょうか。また、どんな機能や役割があればよいでしょうか。

皆様のご意見やアイデアをいただくため、須賀小学校の区域内にお住まいの小学校5年生以上の方1,000人を対象に住民意識調査を実施することといたしました。

皆様のご意見やアイデアについては、須賀小学校の再整備の方向性を定める基本構想や基本計画を検討する際の材料として、活用させていただきます。

お忙しい中とは思いますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※小中学校の適正配置の詳細は、下記QRコード先の町HPをご覧ください。

令和4年11月

宮代町長 新井 康之

■この調査票についての問い合わせ先

宮代町教育推進課 教育総務担当（役場庁舎2階 窓口番号⑱）

電話：0480-34-1111（内線：425）

メール：kyouiku@town.miyashiro.saitama.jp

【町HPへのリンク】



アンケート調査票

■ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、宛名のご本人様をご記入下さい。
2. 問いごとに「1つに○」「主なもの3つに○」などと指定していますので、ご確認の上、回答をお願いいたします。
3. 回答のうち「その他」を選んだ場合、具体的に記入いただく欄を設けておりますので、ご記入をお願いいたします。
4. 調査は無記名方式で、お答えいただきました回答は、統計的に処理するとともに、個人が特定されないよう配慮した上で取り扱うこととしております。
5. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒により **12月12日(月)まで**に切手を貼らずに投函してください。

1. あなたのことについて

問1 あなたご自身のことについておたずねします。下の表の設問について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をしてください。

①性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
②年齢	1. 10歳代 3. 30歳代 5. 50歳代 7. 70歳代以上	2. 20歳代 4. 40歳代 6. 60歳代	
③職種	1. 農業 3. 自営業 5. 主婦・主夫 7. 学生(小・中・高・大・専門) 9. その他()	2. 会社員・勤め人 4. 公務員・教員(団体職員等) 6. パート・アルバイト等 8. 無職(定年退職含む)	
④お住まいの地区	1. 大字東桑原 3. 大字須賀 5. 和戸1～5丁目 7. 宮代台1～3丁目	2. 大字西桑原 4. 大字和戸 6. 大字国納	

2. あなたの普段の生活や活動などについて

問2 あなたは、須賀小学校区域の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。
(1つに○)

1. 大変住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. あまり住みやすくない
4. 住みにくい 5. わからない

問3 問2の選択肢を選んだ理由を教えてください。

問4 須賀小学校区域の魅力、自慢できるところを教えてください。(いくつでも)

1. 自然の豊かさ 2. 伝統的な文化 3. 鉄道の利便性 4. 地域の方の人柄
5. 人との交流やつながり 6. 風景や景観 7. のんびりとした雰囲気
8. ちょうど良い田舎感 9. 地区のコミュニティ(自治会活動・お祭りなど)
10. 治安の良さ 11. ぐるる宮代 12. 地区の公園 13. 和戸公民館
14. 須賀小学校・須賀中学校 15. 地元の特産品(巨峰・和菓子等)
16. 美味しい飲食店(蕎麦店・カフェ等)
17. その他(_____)

問5 あなたは、普段、学校や仕事以外で、どんなところで人と会ったり、活動をしたりしていますか。(主なもの3つに○)

1. 地区の公園 2. 図書館 3. 集会所 4. 新しい村 5. 遊歩道 6. 畑や農園
7. 進修館や公民館 8. 児童館・子育てスペース 9. スポーツ施設 10. 飲食店
11. ショッピングモール 12. ゲームができる施設(ボードゲーム等)
13. その他(_____)

問6 あなたが、問5の場所で行っている趣味や地域の活動、ボランティア活動などがあれば、教えてください。

3. 須賀小学校にできる「みんなが集まる地域の施設」について

問7 須賀小学校にできる地域の施設を「みんなが集まる居場所」とするためには、どのような場所にすればよいと思いますか。(主なもの3つに○)

1. 居心地がよく、自由にくつろぐことができる場所
2. 自然を感じることもできる場所
3. そこに行けば誰かと会える、誰かと知り合うことができる場所
4. 大人も子どもも、世代を超えて交流ができる場所
5. 親子連れが利用しやすい、子どもの成長を支える場所
6. 地域や趣味の活動など、様々な活動ができる場所
7. 活動をサポートし、また新しい活動が生まれる場所
8. 子どもだけで立ち寄れて、遊ぶことができる場所
9. 様々なイベントが行われ、楽しむことができる場所
10. その他 (_____)

問8 須賀小学校にできる地域の施設を「みんなが集まる居場所」とするためには、どのような施設や設備があれば良いと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. スポーツ・運動ができるスペース | 2. 趣味の活動や練習ができるスペース |
| 3. 発表ができるステージ | 4. 読書ができるスペース |
| 5. カフェのような飲食ができるスペース | 6. 調理ができるスペース |
| 7. 自主学習ができるスペース | 8. 仕事ができるスペース |
| 9. 児童館・子どもが遊べる遊具 | 10. 農園や園芸のスペース |
| 11. 子育て世代の交流スペース | 12. 気ままにくつろげるフリースペース |
| 13. 屋台やキッチンカーなどの販売スペース | 14. 自由に使える屋外の広場 |
| 15. その他 (_____) | |

問9 地域の拠点が完成したら、そこでどんな活動があったら面白いと思いますか。また、どんな活動をしたいと思いますか。

--

問10 「みんなが集まる地域の拠点」と「須賀小学校」では、お互いにどんな交流や協力をするとうれしいと思いますか。(1つに○) ※問9と重複した内容でもかまいません。

1. 地域の人による見守り活動	2. 合同のイベントや発表会
3. 地域の人勉強や昔遊びなどを教える誰でも先生	4. スペースや施設・設備の共有
5. 大人と子どもがお互いに得意なことを教え合う活動	
6. その他 (_____)	

○最後になりますが、みんなが集まる地域の拠点を創るにあたって、「これぞ」というアイデアがありましたら、自由にご記入してください。

--

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、12月12日(月)までに投函してください。

令和4年度
須賀小学校地域拠点施設
住民意識調査

令和5年3月発行

発行 宮代町
住所 〒345-8504
埼玉県南埼玉郡宮代町笠原 1-4-1
電話 0480-34-1111
FAX 0480-34-7820
企画・編集 教育推進課